

元來當國ニ渡航セシ移民ニハ獨身者多ク我移民ノ不成績ニ終リシモ畢竟此點ニ歸スル處寧ロ多キカ如シ今獨身者ノ家族移民ニ比較シテ不成績ナル點ヲ指摘スレハ左ノ如シ

- 一、定住心ニ乏シ逃亡移住トモニ容易ナリ
- 一、自己一人ノ糊口ヲ過セハ足ルカ故ニ怠慢ナリ
- 一、家庭的團樂ノ樂ナク色酒賭博ニ耽リ易シ
- 一、金錢ヲ浪費スコト多シ
- 一、姦通等忌ハシキコトヲ聞クコト多シ

之ニ反シ家族移民ヲ誘入スルトキハ落着キテ労働ニ從事シ且ツ労働力ノ如キモ獨身者ニ比較スルトキハ遙カニ優リ且女子ニ適當ナル労働夥多アリテ婦女ト雖モ、男子同様ノ收入ヲ得ルコト極テ容易ナリ故ニ英國製糖會社ニテハ移民手數料トシテ男子ニハ一人ニ付二十「ソル」女子ニハ三十「ソル」ヲ支拂ヒ大ニ獎勵シ居ル有様ナリ耕地支配人モ頻リニ右方法ノ結果良好ナル理由ヲ述ヘリ

第四項ニアル移民ノ到着ヲ七、八、九、十月即チ春季中ニ撰ムコトハ亦タ緊要ナル問題ノ一ナリ今假リニ移民等カ冬期中ニ耕地ニ到着スルトセンカ最モ利益ヲ收ムヘキ甘蔗切労働ニ乏シ、之ニ反シ夏時ニ到着スルトセンカ甘蔗ハ充分發育シ居ルト雖モ、暑氣強ク労働ニ馴レサルカ爲メ意外ノ苦痛ヲ覺エン之カ爲メ濫リニ飲用水ヲ嗅用シ或ハ甘蔗汁ヲ飲ム等其他不衛生ヨリ忽チ「マラリア」又ハ赤痢病ニ罹リ耕地ニ就キ惡感情ヲ抱カシメ之カ先入主トナルトキハ何事モ惡シキ様思ハレ途ニ逃亡ヲ企ツルニ至ルコト多シ之レ春季ノ七、八、九、十月ヲ撰フ必要アル所以ナリ

是等四箇月ノ氣候ハ我國春秋ノ季節ニ彷彿シ寒カラス暑カラス労働ニ最モ適ス甘蔗切労働モ數箇月ヲ經レハ稍、經驗ヲ積ミ收入モ適當ニ得ル様ナリ且ツ氣候習慣ニモ馴レ逃亡ヲ企ツル必要モ起ラス定住スルニ至ルヘシ然レハ到着後數箇月間ハ最モ大切ナル時期ニシテ彼等ヲ定住セシムルカ將又逃亡ヲ企テシムルカハ全ク此期間内ニ於テ定マルモノ、如シ

今度夫婦  
一組五十  
「ソル」ニ  
收メタリ

第五項タル徵兵適齡前ノ者ハ少數ナルヘキ筈ナルニ事實ハ却ツテ然ラス現今當秘露國ニ在住スル邦人ノ數五千人弱ニ對シ年々領事館ニ徵兵猶豫願ヲ出願スル者千人餘アリ之レ契約條件ニアルカ如ク二十歳以上ノ壯丁者ニシテ本邦出發前既ニ猶豫ナレ居リシ者ヲ除ケハ一人モ無キ筈ナルニ此ノ如ク二割強ノ猶豫者アルハ年齡ヲ僞ハリ徵兵ヲ避ケンカ爲メ渡來セシ者ト謂フテ可ナリ故ニ労働ハ素ヨリ熱心ナラス其不幸ハ獨リ本人ノミニ止マラス延テハ移民一同ニ惡風習ヲ與ヘ甚タ不都合ナリトス此ノ如キハ移民會社宜敷充分注意スル責任アラシ

二、英製糖會社ノ改良スヘキ點

一言ニシテ之ヲ悉セハ英國製糖會社ハ日本人労働者ヲ使用セサレハ會社ノ營業ハ忽チ大頓挫ヲ來スト云フコトヲ得ヘシ故ニ耕主ハ本邦労働者ニ對シテハ極力好待遇ヲ與フルニ吝ナラス

當國ハ外國移民ノ誘入ニハ出來得ル限り努力スル必要アリ何ントナレハ國富ノ根源ハ一ニ懸リテ人口増殖ニ歸ス曾テ伊太利、西班牙ノ移民誘入ニ盡瘁セシモ現今ハ此等移民者ハ皆無ナシ彼等ハ當國ノ如キ遠隔ノ地ニ來ルヨリモ、ヨリ近ク、ヨリ大ナル、ヨリ利益多キ北米、並ニ南米東海岸ニ於テ當國ヨリモ一層有利ノ條件ヲ以テ待ツモノアルカ故ニ労働者ヲ誘入セント欲セハ東洋人ヲ探ルヨリ外途ナシ然レトモ支那人ハ曾テ奴隸廢止後之ニ換ヘンカ爲メ誘入セシコトアリシモ人種上ノ偏見ト國民性ノ相違トニヨリ排斥ヲ釀シ途ニ移民禁止令トナリテ茲ニ支那移民ノ入國ハ全然中止セラレ、ニ至レリ其間ニ介在シテ本邦移民ヲ誘入セント企ツル者起リ十數年以前ヨリ今日ニ至ル迄大凡五千人ノ同胞當國ニ渡來シタリ其内「カニエテ」耕地ニ入耕セシ者約其半數ニ達ス

耕主ハ本邦移民ノ爲メ出來得ル限りノ待遇ヲ與ヘ労働賃銀ノ如キモ秘露土人ニ對シテハ日給八十仙乃至一「ソル」ナルニ我移民ニ對シテハ特ニ一「ソル」二十仙ヲ支拂ヒ其外移民ノ家屋ノ如キモ充分ノ注意行届キ移民ノ待遇法トシテハ略ホ完全ニ近シ然レトモ小官ハ同耕地出張ノ際特ニ支配人ニ依頼シ我移民ノ爲メ出費ヲ要スル設備ナレトモ承諾ヲ受ケ既ニ新設ニ着手シタルモノ及セントスルモノ數件アリ其内主要ナルモノハ小學校、病院新設並ニ醫療器械購入ノ件等ナリ其外

特別ノ費用ヲ要セサルモノニシテ承諾セラレタルモノハ入浴所並ニ便所新設ノ件等ナリトス

「サンタ、バルバラ」村ハ工場所在地ナルカ故ニ常ニ温湯アリ故ニ温湯並ニ水浴場各一箇所ヲ新設スル様支配人ニ依頼シタリ、「カサ、ブランカ」村ニアリテハ温湯ナキカ爲メ温湯ヲ欲スル者ハ移民各自ニ湯ヲ沸カスヨリ外方法ナシ、湯殿ハ本邦移民ノ住居スル部落ノ中央部ニ之ヲ作り流水ヲ通シテ常ニ清潔ナル水浴ヲナサシムル方法ヲ講スルコト、ナシタリ「カサ、ブランカ」村ニハ便所ノ設備アレトモ「サンタ、バルバラ」村ニハ此ノ設備ナシ移民等ハ野外ニ出テ、自由ニ之ヲ便ス然レトモ此ハ不潔ノ原ニシテ流行病ノ發源トナリ女子及病人ノ爲メニハ不便甚タシキ而已ナラス唯サヘ素レ易キ移民地ノ風儀ヲシテ益、殺風景タラシムルカ故ニ便利ナル箇所ニ數箇ノ便所新設ノ議ヲ依頼セシニ直チニ承諾セリ

### 三、移民ノ改良スヘキ點

移民ノ改良スヘキ點ニ就テ最モ重大ナル問題ハ其階級ノ精撰ニアリ純農民ヲ撰擇シテ渡航セシメサルニ於テハ移民發展ハ到底絶望ナリ蓋シ彼等ノ内ニ農民以外ノ者ヲ混入スルトキハ善良ナル移民迄誘惑セラレ逃亡或ハ同盟罷業等ヲ企テ耕主ノ同情ヲ失墜セシコト從來其實例ニ乏シカラストス  
移民中ニハ往々秘露國ヲ誤解スルモノアリ當國ニ渡航スルトキハ拱手シテ尙ホ能ク一攫千金ノ機會ヲ得ル如キ空想ヲ抱ク者多シ然レトモ事實ハ却テ之ニ反シ労働ノ困難ナルハ寧ろ本邦ノ夫レニモ優リ濫手ニ粟ノ攫ミ取りハ何處ニ行クトモ決シテ出會スルコトナシ斯ノ如キ夢想ヲ抱キテ渡來スル移民ハ必ス不平ヲ起シ成功ハ到底覺束ナシ

## 第四章 結論

### 一、移民ノ定住

當秘露國ニ渡來セシ本邦移民ハ如何ニシテ耕地ニ定住セシメ得ルヤハ大ニ研究スヘキ問題ナリ誰カ斯ノ如キ遠隔ノ地ニ而カモ天然ノ美ニ乏シキ荒漠タル廣野ニ親兄弟ヲ捨テ友人知己ニ別レ來リタル者一日モ早ク成功シテ故郷ニ歸ヲ飾ラント思

考セサルモノアランヤ彼等ノ目的トスル處ハ在住四箇年ニシテ一人一千圓ノ貯蓄ヲ携ヘテ歸國セントスル者ナリ彼等ニ取リテハ亦理想的ノ成功ト謂フヘシ而シテ耕地ニ在リテ着實ニ労働シ酒色賭博ニ耽ラス重病ヲ患ヒサル者ニアリテハ右ノ貯蓄ヲ得ルハ何等困難アルナシ渡航後數箇月ヲ經ルトキハ當國ノ高價ナル物價ニ馴レ美食、美衣ヲ恣ニシ甚シキハ色酒ニ荒ミ賭博ニ耽リ僅カナル貯蓄ハ忽チニシテ消失シ或者ハ借錢ヲ負ヒ果テハ眞面目ノ労働ニ從事セス僥倖ヲ夢ムルニ至ル比々皆然リ本耕地ニモ既ニ十數年在住シ未タニ無一物ノ者モ少カラス斯ノ如キハ定住ト稱シテモ些ノ價值アルモノニアラス

我移民ヲ耕地ニ定住セシムルコトハ最モ困難ナル問題ノ一ナリ何故ナラハ本邦移民ハ常ニ都會ニ集中シ労働少ナキ職業ヲ求メントスルモノ多キカ故ナリ

### 二、移民ノ都會集中

目今里馬市ニ集中スル本邦移民ノ數凡ソ八百餘人彼等ノ職業ノ主要ナルモノハ理髮業ニシテ之ヲ經營スルモノ約七十軒ニ達ス其外家内労働等當國下層ノ労働ヲ蠶食シツ、アルカ故ニ近來本邦人排斥ノ聲ヲ一部人士間ニ發セシムルニ至レリ此ノ如キハ今ヨリ未發ニ豫防シ將來日本人排斥運動ノ起ラサル様所置スルコト必要ナルヘシ

### 三、移民ノ轉航

當國ニ渡航シタル移民中國境ヲ越エテ他國ニ轉シタルモノ、數約三百人アリ其内智利國ニ最モ多ク重ニ海岸ノ諸港並ニ硝石採掘地ニ労働ス次ニ「ボリビア」國ニシテ重ニ護謨林地方ニ労働ス亞國ニ渡航セシ者ハ甚タ少數ナリト雖モ、近時墨國ニ轉セントスルモノ漸ク其數ヲ増加シツ、アリ定住心ナキ移民ハ目的地タル耕地ヲ捨テ、都會ニ來リ茲ニモ何等芳ハシキ事業ナキカ爲メ外國ニ轉航セントスルモノナリ然レトモ斯ノ如キ舉ハ徒ラニ旅費ト時日ヲ費スニ過キスシテ何等得ル所ナキハ明白ナリ

### 四、秘露移民ノ可否

秘露移民ノ可否ヲ論スルニ當リ先ツ可否ノ諸點ヲ列舉比較セントス左ニ可ナル點ヨリ記述センニ本邦純農家ノ子弟ニシテ現ニ本邦ニ於テ勞働ニ従事シ居リシ者ナラハ當國甘蔗耕地ノ勞働ハ何等ノ勞苦アルコトナシ而シテ四箇年ノ勞働ヲ全フスルニ當リテハ如何ニ少額ニ見積リテモ一人一千圓ノ貯金ヲ得ルハ困難ニアラズ四箇年勤績ノ終リニハ耕地ヨリ歸航費トシテ十磅ヲ附與セラル、獎勵法アリ旅費ニハ充分ナリ故ニ移民ハ四箇年ノ勞働ヲ終リ歸國シ郷里ニ到着セシ時ハ尙ホ千圓ヲ懷中シ得ル理ナリ此ノ貯金ヲ以テ小事業ヲ起サントスルニハ充分ニシテ斯ノ如キ種類ノ移民ニ取リテハ至極適當ノ就勞地ナリト信ス

然レトモ我移民ノ否ナル點ヲ擧クレハ移民會社ハ農業移民ヲ募集ストノ口實ノ下ニ無賴ノ輩ヲ渡航セシメ常ニ苦情ノ種ヲ作り當國人ニ排斥ノ聲ヲ高カラシムル如キハ最モ恐ルヘキ問題ナリ而カモ現在ノ我カ秘露移民ハ概シテ可ナル點ヨリ否ナル點ノ方遙カニ多數ナリ今ノ内幕集ノ點ニ注意ヲ拂ヒ以テ移民ノ精撰ニ努力スルニアラサレハ將來取返シノ付カサル失敗ヲ來タスコトナキヲ保セサル也

亞國ニ於ケル外國移民

秘露移民ノ可否ヲ論スルニ當リ先ツ可否ノ諸點ヲ列擧比較セントス左ニ可ナル點ヨリ記述センニ本邦純農家ノ子弟ニシテ現ニ本邦ニ於テ勞働ニ従事シ居リシ者ナラハ當國甘蔗耕地ノ勞働ハ何等ノ勞苦アルコトナシ而シテ四箇年ノ勞働ヲ全フスルニ當リテハ如何ニ少額ニ見積リテモ一ノ千圓ノ貯金ヲ得ルハ困難ニアラス四箇年勤績ノ終リニハ耕地ヨリ歸航費トシテ十磅ヲ附與セラル、獎勵法アリ旅費ニハ充分ナリ故ニ移民ハ四箇年ノ勞働ヲ終リ歸國シ郷里ニ到着セシ時ハ尙ホ千圓ヲ懷中ニ得ル理ナリ此ノ貯金ヲ以テ小事業ヲ起サントスルニハ充分ニシテ斯ノ如キ種類ノ移民ニ取リテハ至極適當ノ就勞地ナリト信ス

然レトモ我移民ノ否ナル點ヲ舉クレハ移民會社ハ農業移民ヲ募集ストノ口實ノ下ニ無賴ノ輩ヲ渡航セシメ當ニ苦情ノ種ヲ作り當國人ニ排斥ノ聲ヲ高カラシムル如キハ最モ恐ルヘキ問題ナリ而カモ現在ノ我カ秘露移民ハ概シテ可ナル點ヨリ否ナル點ノ方遙カニ多數ナリ今ノ内幕集ノ點ニ注意ヲ拂ヒ以テ移民ノ精撰ニ努力スルニアラサレハ將來取返シノ付カサル失敗ヲ來タスコトナキヲ保セサル也

## 亞國ニ於ケル外國移民

# 亞國ニ於ケル外國移民

(明治四十五年二月)

## 目次

- 亞國面積ト人口ノ關係
- 亞國ニ於ケル外國移民ノ歴史
- 亞國ニ於ケル外國移民ノ統計
- 亞國ニ於ケル外國移民國籍別
- 亞國ニ於ケル外國移民取扱振
- 亞國ニ於ケル勞働者ノ狀態
- 亞國ニ於ケル外國人測定數
- 亞國ニ於ケル外國人ノ團體、機關
- 亞國ニ於ケル勞働者賃銀表
- 亞國ニ於ケル物價一斑
- 亞國ニ於ケル移民ニ關スル法律
- 以上

# 亞國ニ於ケル外國移民

(明治四十五年二月十一日付)  
在智利國帝國公使館報告

外務通譯生 三 隅 棄 藏

## 面積ト人口ノ關係

亞國各州各領地ノ面積人口ハ左ノ如シ

州、領地名	面積 平方 哩	人口 一千九 百九年	一千九百八年ニ於ケ ル一平方哩ノ人口
↑ブエノス、アイレス州	一七、八四九	三〇三、六〇九	一六、五七二
↓サンタ、フェ州	五〇、九一六	八四一、六三七	一六、〇
エンツレリオス州	二八、七八四	三七、一四一	一、四一
コリエンテス州	三三、五八〇	三五、二六八	九八
ラ、リオハ州	三四、五四六	八九、二六四	二、五
カタマルカ州	四七、五三一	一一〇、三二七	二、二
サンフアン州	三三、七二五	一一六、六四三	三、三
メンドサ州	五六、五〇二	二五、二四六	三、八
コルドバ州	六二、一六〇	五七、二八九	八、八
サンルイス州	二八、五三五	一一、五六五	四、一
サンチャゴ、デ、エスタロ州	三九、七六四	二六、三四九	四、九
ツクマン州	八九、二六	三〇三、一四八	三、三
サルタ州	六二、一八四	一四七、三六一	二、三
フワイ州	一八、九七七	六二、四三三	二、九
ミシオネス領地	一一、二八二	四四、七四五	三、八
フオルモサ同	四一、四〇二	一五、二二六	〇、三
エル、チヤコ同	五二、七四一	二七、三九四	〇、四
バムバ同	五六、三三〇	八九、二二一	一、三
リオネグロ同	七五、九二四	二六、一四七	〇、三

ネウケン領地	四、三四五	二八六
チユブク同	九、三四七	〇六
サンタ、クルツ同	一〇、九一四	〇二
チイエラ、デル、フエゴ同	八、二九九	〇二
ロス、アンデス	二、九九九	〇二
合 計	一、三五八四〇	五七
	六八〇、五六八四	

則チ中央州部ニハ人口多クシテ南北領地部ニハ非常ニ稀薄ナルモ而カモ首府ノ人口一百二十三萬五千三百四十五人ヲ控除スルトキハ全國地方部ニ分布セル人口ハ僅ニ五百五十七萬三千四百九十九人トナルナリ。之ヲ諸外國ト比センニ白耳義ト殆ント人口ヲ同フシ（一千九百年白耳義人口）而シテ面積ニ於テ百倍ス、獨逸帝國ノ人口（一千九百十年度）約十分ノ一二相當シ而シテ面積ニ於テハ其五倍以上ナリ。英國人口（一千九百一年）ノ約六分ノ一二過キサルモ面積ニ於テハ之ニ九倍ス、人口ノ密度ヲ比較スレハ亞國ハ一平方哩ニ付五、七人ノ割ニ過キサルモ白耳義ハ五百八十九人、獨逸ハ三百十人、英國ハ五百五十八人、我國ハ三百三十六人ニ上リ其間ノ差實ニ非常ナリトイフヘシ。則チ白耳義ノ割ヲ以テスレハ亞國ハ尙六億内外ノ人口ヲ收容スルコトヲ得ヘク日本ノ割合ヲ以テスレハ四億ニ上ルニ至ルヘシ。而シテ亞國カ日本ニ比シテ山嶽少ク平地多キ點ハ特ニ注意スヘシ、尤モ各國ノ事情一ナラス此等諸國ノ實例ヲ以テ亞國ニ望ムヘカラストスルモ要スルニ亞國カ尙非常ノ人口ヲ收容スルノ餘地アルハ明々白々ナリトス

### 亞國ニ於ケル移民ノ歴史

亞國ニ於ケル外國移民ノ其紀元ハ一千八百五十二年二月三日「ローサス」叛亂平定シ政府ノ基礎確立シタル時ニ在リトイフモ不可ナカルヘシ、當時政府ノ宣言ニ「一般ノ幸福ヲ増進シ亞國臣民、其子孫及亞國內ニ居住ヲ求ムル世界各國臣民ノ自由ヲ保障ス」トアリシヨリ茲ニ外國移民ハ滔々トシテ亞國內ニ浸入スルニ至レリ、其後恐慌、惡疫及ヒ戰亂ノ爲ニ時ニ入國移民ノ數減退シ其間一張一弛ナキニ非リシモ未タ曾テ全然停止スルニ至ラザリシナリ。然レトモ一千八百五十

三年以前ニ在リテハ外國移民ノ入國數ニ就キ何等ノ文書統計ノ徵スヘキナク一千八百五十四年ヨリ同七十年ニ至ル間ハ單ニ移民ノ入國數ヲ記載スルニ止リシカ一千八百八十一年ニ至リ初メテ移民ノ國籍、男女別、年齢、職業、教育等ノ條件ヲ記入スルニ至レリ

則チ一千八百五十四年後半期ニハ入國移民數二千五百二十四人、一千八百五十五年ニハ五千九百九十二人、一千八百五十六年ニハ四千六百七十二人、一千八百五十七年ニハ四千九百五十一人、一千八百五十八年ニハ四千六百五十八人、一千八百五十九年ニハ四千七百三十五人則チ六年間ニ於テ移民入國ノ數二萬七千四百五十二人ニシテ殖民地時代ニ世紀間ニ亘リ入國セル移民數ニ超過セル現象ヲ發見スヘシ

一千八百六十年ヨリ一千八百六十九年ニ至ル十年間ニ於ケル移民入國數ハ十三萬四千三百二十五人ニ増加シ一千八百七十年ヨリ一千八百七十九年ニ至ル十年間ニハ二十六萬四千八百六十九人ニ上レリ、而シテ其頂點ニ達セシハ一千八百八十年ヨリ一千八百八十九年ニ至ル十年間ニシテ其數實ニ一百二萬九百七十七人ニ上レリ。然レトモ此十年間ニハ又亞國ニ何等生産力ヲ與ヘサル歐洲不用ノ移民カ無暗ニ輸入サレシ事實ヲ看過ス可カラサルナリ

一千八百九十年ヨリ一千八百九十九年ニ至ル十年間ハ亞國ニ於ケル銀行危機ニ瀕シ信用下落セシ時期ナリシヲ以テ移民ノ數九十二萬八千人ニ減少シ同時ニ亞國ヨリ彼等本國ニ向ケ歸國セル移民ノ數五十五萬二千七百七十二人ニ上レリ、此等ノ歸國者ハ多クハ亞國ニ於テ失敗シ或ハ職業ヲ得スシテ歸國シタルモノナルヘキモ同時ニ多少ノ成功ヲ齎シテ歸國セル者アル事實ヲ否ム可ラサルナリ、不幸ニシテ此移民歸國ノ現象ハ今日尙行ハル、一千九百年ヨリ一千九百四年ニ至ル五十年間ニハ入國移民ノ數六十萬一千六百八十二人、出國（歸國）移民ノ數三十八萬四千九百九十九人ヨリ一千九百七年ニ至ル三年間ニ於テモ亦同様ノ傾向ヲ呈シ入國移民ノ數七十八萬一千七百九十六人、出國移民ノ數三十二萬四千六百八十七人ニ達シ最近一千九百八年ヨリ一千九百十年ニ至ル三年間ノ統計ニハ入國移民ノ數七十七萬六千四百三十四人出國移民ノ數二十八萬七千九百八十八人トナリ居レリ

一千九百年ヨリ一千九百四年ニ至ル五年間ニ移民ノ減少セルハ收穫不良、公私事業ノ停止、境界問題ヨリ生セル戰爭ノ噂、生計費ノ騰貴、公私殖民地ノ設定ニ關シ移民ノ實際遭遇セル困難、農業地方ニ於ケル地價及地代ノ騰貴、人畜生命ノ不安、遠隔地方ニ於ケル官憲ノ官權濫用等ノ理由ノ下ニ之ヲ説明シ得ヘキモ其後ニ至リ亞國ノ經濟界ハ益々順境ヲ示シ豐作相次ギ事業ハ勃興シ其他ノ原因モ多クハ解決サレシニ拘ラス今尙移民ノ入國數前年ノ如ク多カラサルハ事實統計ノ證明スル處ナリ

右ノ如ク移民歸國者(出國者)ノ年々其數ヲ絶タサル現象ハ頗ル注意スヘキ點ニシテ亞國側ニ取テハ決シテ嘉ミスヘキ徵候トイフ可カラス、何トナレハ如此歸國者ノ多キ事實ハ亞國ニ於ケル外國移民ノ同化ヲ妨ケ亞國一般ノ希望タル人口増殖ノ方針ニ反對ナレハナリ、サレハ同國政治家中ニハ此點ニ就キ大ニ論スルモノアルモ而カモ一方ニハ却テ亞國移民ノ有利ナルコトヲ反證スルモノニシテ此等歸國移民ノ多數ハ前ニ述ヘタル一千八百九十年後十年間ニ於テ亞國ヨリ歸國セル者ト事情ヲ異ニシテ寧ロ多少ノ貯蓄ヲナシ相當資金ヲ齎シ歸國セルモノト見テ差支ナシ、現ニ歸國移民ノ多數ハ農産物ノ收穫以前ニ亞國ニ渡航シ收穫ヲ終了シテ後、歸航ノ途ニ上ル伊太利其他ノ一時出稼者ナル事實ヲ示スニ於テオヤ、而シテ此事實ハ亞國側ニ於テ希望セサル處ナルモ彼等移民ノ本國側ニ於テハ却テ希望スル處ナルヤモ知ル可ラス尤モ此亞國移民ノ出入頻繁ナル所以ハ亞國ト彼等移民本國トノ渡航非常ニ容易ニシテ且ツ運賃低廉ナル事實モ與ツテ力アルコトヲ注意スヘシ。亞國移民局ノ調査ニ據レハ一千九百五年ヨリ一千九百七年ニ至ル三年ヲ通シ歸國移民ハ一人ニ付平均英貨三十磅内外ノ持參金ヲ齎シ去リシトイフ。然レハ彼等移民カ前記三年間ニ本國ニ齎ラセル金額ハ實ニ英貨一千萬磅ニ上リ其額亦大ナリトイフヘキナリ

亞國ニ於ケル移民統計

年 度	移民入國數	移民出國數	出入差引 移民居殘數
一八五七—一八六〇	110,000	1	110,000

一八六一—一八六五	46,874	1	46,873
一八六六—一八七〇	112,626	1	112,625
一八七一—一八七五	148,433	1	148,432
一八七六—一八八〇	112,291	1	112,290
一八八一—一八八五	255,185	1	255,184
一八八六—一八九〇	591,383	1	591,382
一八九一—一八九五	336,352	1	336,351
一八九六—一九〇〇	411,074	1	411,073
一九〇一—一九〇五	526,030	1	526,029
一九〇六	251,536	1	251,535
一九〇七	209,103	1	209,102
一九〇八	255,710	1	255,709
一九〇九	331,084	1	331,083
一九一〇	299,640	1	299,639

亞國ニ於ケル入國移民國別表 (一千八百五十七年ヨリ一千九百九年ニ至ル)

國 別	人 數	國 別	人 數
伊 太 利 人	189,232	白 耳 義 人	11,007
西 班 牙 人	88,271	葡 萄 牙 人	10,996
佛 蘭 西 人	192,426	和 蘭 人	6,319
露 西 亞 人	93,349	丁 抹 人	5,211
奧 匈 人	64,252	北 米 合 衆 國 人	4,153
英 國 人	44,971	瑞 典 人	1,430
獨 逸 人	43,856	雜 人	117,464
瑞 西 人	29,104	合 計	3,409,950

亞國ニ於ケル移民取扱振

亞國ニ於ケル外國移民統計 亞國ニ於ケル外國移民國籍別 亞國ニ於ケル外國移民取扱振



移民検査

亞國法律ニ依レハ二等三等ノ移民客ヲ搭載セル船舶ハ其到着毎ニ移民検査官、検査醫、及ヒ水上警察員ヨリ成ル團體ノ來船検査ヲ受ルコトヲ要ス、而シテ其検査ノ目的トスル處ハ船舶内ニ於ケル健康衛生、航海中ノ便宜、食物ノ良否等ヨリ醫師藥劑師ノ存在、規定噸數以上旅客ノ超過數、甲板、下等室及寢臺ノ狀態カ法ノ規定ニ適合スルヤ、流通器、消防器、炊事器、避難帶及避難艇ノ數カ十分ナルヤ、傳染病ノ發生ナキヤ、惡疫流行ノ港ニ上陸ノ乗客ナキヤ、爆發物及毒物ノ搭載ナキヤヲ検査シ尙移民法ノ規定ニ依リ取扱ノ不當ナルニ對シ乗客ヨリノ故障申立ヲ取上ケ及ヒ船長ヨリ文書ヲ徴シ凡テ移民ノ保護上航海中ノ出來事ヲ記載セシム

移民收容

移民カ各自勞働ノ種類、入國ノ目的ヲ明白ニスル爲ニ嚴重ナル質問ヲ受ケ法ノ規定スル處ニ從ヒ一表ヲ作成シ此等ノ區別ニ依リ其旅券文書ニ普通旅客、及ヒ在來住居者ノ記入ヲ受ルモノトス  
此ノ如ク法ノ規定ニ本キ移民検査官ニ依リ各自旅券ニ記入サレタル移民ハ移民收容ホテル使用人ノ出迎ヲ受ケ豫メ備ヘアル馬車鐵道ニ乗込ミ港ヨリホテルニ抵ル、荷物ハ同様收容所ノ雇人ニ依リ運搬セララルヘシ

自由宿泊所

ホテルニ到着シタル移民等ハ入口ニ於テ姓名ヲ登録シ五日間ノ滞在券ヲ得ヘシ、尤モ病氣ノ場合ニハ更ニ期間ノ延長ヲ得、移民ハ隨意ニ宿泊ヲ得ルモノニシテ婦人小兒ハ男子ノ室ト分離シホテル雇人ノ運搬シ來レル荷物ハ之ヲ倉庫ニ纏メ税關吏ノ特別検査ヲ受ク

自由食事給與

移民ニハ品質上等ノ食料ヲ給スル則チ成年者一人ニ付一日ニ給與スル食料品ハ如左  
肉六百瓦、パン五百瓦、馬鈴薯、胡蘿蔔類又ハキャベジ(交互ニ)百五十瓦、米、麵類又ハ豆(交互ニ)百瓦、砂糖二十

五瓦、コーヒー十瓦

小兒ニハ牛乳ヲ給ス、食事ハ蒸氣使用ノ炊事室ニ於テ調理シ大食堂ニ於テ給仕附添ヒ之ヲ供ス

醫 療

右ホテル附屬ノ病院アリ常ニ病人ヲ收容シ看護至ラサルナシ少年者ニハ種痘ヲ施シ成年者ニモ亦希望ニ依リ之ヲ行フ、醫師、助手、看護婦アリ、又藥局、醫療材料一切其他消毒材料ヲ具有ス

國立勞働周旋局

移民ノ到着勿々其希望行先地ヲ十分問ヒ質シ勞働周旋局ハ其注文ニ應シ適當ナル仕事ニテ周旋ス可シ、此場合ニハ其仕拂賃銀高並ニ其他ノ條件ニ就キ十分説明ヲ與ヘ其備ヘアル特別帳簿ニ之ヲ記載スヘシ

移民ノ希望スル仕事口ノ職業ニ對スル注文ナキ場合ニ於テ右周旋局ハ製造場、工場又ハ事業場ニ問合ハセ又ハ共和國內ノ内地ニ打電シテ其仕事口ヲ探スコトニ務ムヘシ、移民ノ行先希望地ニ其所屬ノ仕事口ナキ場合ニ於テハ右周旋局ヨリ注意スル處アルヘシ、移民ノ希望ヲ尊重シ其希望、目的ニ對シテ意思ノ壓迫ヲ加フル如キコトナカルヘシ

自由旅行

國內内地ニ住セントシ又ハ其家族ト共住ノ爲ニ内地旅行ヲ希望スル移民ハ事務所附案内掛ニ申出テ其荷物運搬ヲ委託シ引換ヘ切符ヲ貰受ケ尙旅行移民者名簿ニ其姓名ヲ登録シ其希望ニ添フ旅行切符ヲ貰受クヘシ然レハ汽車又ハ川蒸氣ノ其目的地ニ達スルニ至ル迄十分ナル注意ヲ與フヘシ

州内地ノ移民收容

殖民設定ノ目的ヲ以テ州、又ハ領地内部ニ赴カントスル移民ハ殖民委員會事務員ヨリ汽車内ニ出迎ヘラレ其仕事口ニ就職シ又ハ其希望目的地ニ出發スル迄十日間宿泊並ニ食事給與ヲ受ルコトヲ得  
他ノ鐵道ニ乗込ミ旅行繼續ノ場合ニハ首府ニ於ケルト同様汽車到着ヨリ出發ニ至ル迄前記事務員ノ取扱ヲ受クヘシ

郵便電信

移民「ホテル」ニハ郵便電信ノ事務局ヲ有シ移民ノ通信ヲ便宜ニシ及ヒ移民局並ニ労働周旋局カ共和国ノ全部ニ其事務ヲ取扱フニ必要ナル命令訓令ヲ即時傳達スルノ便ニ供ス

又通譯者ヲ有シ移民ノ爲ニ便宜ヲ與フ  
註 以上ハ亞國官憲ノ報告大要ヲ譯シタルモノニシテ實際ニ於テ右ノ如ク果シテ勵行サレ居ルヤ否ヤ多少ノ斟酌ヲ要ス

「亞國ニ於ケル移民ニ關スル法律」參照

亞國ニ於ケル労働者ノ状態

亞爾然丁共和国ニ於ケル労働者ノ状態ハ比較的安全ナル境遇ニ至リ、女子及小兒ノ労働ニ關シテハ法律ヲ以テ嚴格ニ規定シ定時ノ休養ヲ勵行シ居レリ、又労働中ニ於ケル不時ノ出來事ニ對シテハ法律ヲ以テ強制保險ノ制ヲ定メ居レリ此等ノ中労働保險ノ制最モ廣ク行ハル、苟モ樞要ナル事業ニシテハ其労働者ニ對シ保險ヲ施サ、ルモノナシ、今一千九百九年「ブエノス、アイレス」七會社ニ於ケル保險ノ狀況ヲ見ルニ實ニ左ノ如シ

摘要		一九〇八年	一九〇九年
保險加入労働者數	一九〇八年	一、五八〇	二、五九六
貨銀價價格	一九〇九年	六、七二九	九、〇一四
臨時發生損失	一九〇八年	四、七九七	七、〇〇四
清算損失	一九〇九年	六、〇三三	六、九六四
清算價格	一九〇八年	五、三七四	五、五九九
	一九〇九年	三、四七六	四、二二七

又労働者ノ住宅問題ハ夫々解決サレ一千九百五年十月十四日ノ法律ハ「ブエノス、アイレス」市役所ニ命スルニ労働者住宅ノ爲ニ亞國通貨二百萬弗ノ市債ヲ起スヘキコトヲ以テセリ則チ市ノ周圍附近ニ労働者三萬人ヲ容ルヘキ労働者市街ヲ

ヲ建設シ其家屋ハ衛生ニ適シ清潔堅牢且其他ノ條件ヲ具備スヘキコトヲ以テセリ、而シテ之カ爲メ既ニ慈善家ヨリ土地ノ寄附ヲ申出テシモノモ出テ現ニ此目的ノ爲ニ六十有餘ノ家屋ハ建設セラレタリ  
「コルドバ」縣ニ於テハ一千九百七年十月十八日法律ヲ以テ右ト同目的ノ下ニ二十五萬弗ノ公債ヲ起スコトニ決セリ、此法律ニ依レハ此等家屋ハ労働者ニ其實際價格ヲ以テ賣却スヘク其仕拂ハ月賦拂ノ方法ニ依リ前拂ヲ許サス而シテ此等家屋ハ月賦負債償却ノ完済スル迄ハ何等ノ租稅ヲ課セラル、コトナシ、若シ何等カノ動機ニ依リ此契約廢棄ニ歸スル場合ニハ其労働者又ハ其労働者子孫ニハ既ニ仕拂済ノ全額ヲ返却セサル可カラズ

亞國ニ於ケル外國人測定數 (一千九百九年十二月三十一日)

國籍	人數	國籍	人數
伊太利人	1,039,011	瑞典人	1,869
西班牙人	664,602	モロッコ人	1,470
佛蘭西人	1,031,014	和蘭人	8,340
露西亞人	842,233	セルヴニア人	3,400
シリア人	51,936	亞弗利加人	3,339
奧太利人	298,859	日本	3,311
英國人	246,700	那威	1,868
獨逸人	199,958	ポーリア人	1,811
瑞西人	94,822	伯刺西爾人	1,732
葡萄牙人	69,800	フネランド人	1,681
洪牙利人	66,855	墨斯哥人	1,411
白耳義人	41,944	玖馬人	1,355
丁抹人	29,326	ウエネヅエラ人	1,244
北米合衆國人	28,666	支那人	344
ルーマニア人	24,844	其他	11,910
希臘人	22,008	合計	1,711,090
ブルガリア人	15,955		

亞國ニ於ケル外國人測定數

二九三

由是觀之亞國ニ於ケル外國人中最多數ヲ占ムルモノハ伊太利人ニシテ西班牙人之ニ次ク、而シテ露西亞人カ其第四位ヲ占ムルハ人ヲシテ少シク奇異ノ感ヲ抱カシム、獨逸人ハ寧ロ北隣伯刺西爾國ニ多ク亞國ニハ割ニ少數ナリ

亞國ニ於ケル外國人ノ團體、機關

(一) 伊太利人

其重要ナル團體名稱ヲ舉レハ左ノ如シ

慈善團組合 Unione e Benevolenza

伊太利人會 Nazionale Italiana

伊太利人勞働組合 Unione Operai Italiani

ラゴ、ヂ、コモ縣人會 Lago di Como

伊太利人俱樂部 Circolo Italiano

商業會議所 Camera de Comercio

伊太利人病院 Hospital Italiano

其他慈善救助院數多アリ

銀行 伊太利、リオ、デ、ラ、プラタ銀行 (Banco de Italia y Ris de la Plata)

伊太利商業銀行 (Banco Comercial Italiano)

新伊太利銀行 (Nuevo Banco Italiano)

新聞 ラ、パトリア、デリ、イタリアニ La Patria degli Italiani

シオルナレ、ヂイタリア Giornale d'Italia

リイタリアノ L'Italiano

(二) 佛蘭西人

慈善團體

リオ、デ、ラ、プラタ佛蘭西人博愛會 (Sociedad filantró Francesa del Rio de la Plata)

佛蘭西人慈善會 (Sociedad Francesa de Beneficencia)

社交團體

Club Francés

Les Enfants de Béranger

商業會議所

Camera Francesa de Comercio

Hospital Francés

病院

慈善救助院

銀行

Banco Francés y Rio de la Plata.

Franco Argentino de Descuentos.

新聞

Le Courier de la Plata

慈善團體

(三) 獨逸人

Allgemeine Deutsche Kranken-Unterstützung.

Germanischer Verein.

社交團體

Deutsche Frauen heim.

Deutsche Sunnans heim.

社交團體

Deutsche Klub vormals Deutscher Furrverein.

Gesangverein Germania

Ruder Klub Teutonia

亞國ニ於ケル外國人ノ團體、機關

- 病院 病
  - 銀行 銀
  - 新聞 新
  - 慈善團體 慈善團體
  - 病院 病
  - 社交團體 社
  - 銀行 銀
  - 新聞 新
- Wissenschaftliche Verein  
Hospital Aleman  
Banco Alemán Fransiatico.  
Banco Germánico de la América del Sud.  
Deutsche La Plata Zeitung  
Argentinisches Tageblatt.
- (四) 英國人  
Woman's Exchange  
Irish Orphan Home.  
Victoria Sailor's Home.  
Hospital Británico  
Club Ingles.  
Anglo Sud-Americano.  
Britanico de la Amencia del Sud.  
Londres y Rio de la Plata.  
Londres y Brasil.  
The Standard.  
Buenos Aires Herald.
- (五) 西班牙人

西班牙人ノ慈善團體其他ノ社交團體ハ其數尠シトセス其重ナルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

- 病院其他新聞等アリ
  - 銀行 銀
  - 新聞 新
- Cienclo Valenciano.  
Cienclo Gallego.  
Club Espanol.  
Banco Espanol del Rio de la Plata.  
Banco Basco-Astiano del Plata.  
Banco de Madrid y Buenos Aires.  
Banco de Galicia y Buenos Aires  
Banco Popular Espanol.  
El Diario Espanol.

亞國ニ於ケル労働者賃銀

◎第一 首府「ブエノス、アイレス」市

(本表記載ノ亞國通貨一弗ハ邦貨八十五錢ノ割 亞國法定相場)

(一) 左官

- 正面掛左官 一日六弗五十仙—七弗 (時ニ仍リ八弗九弗ニ上ルコトアリ)
- 左官職人 四弗—四弗三十仙 半 職人 三弗廿仙—三弗五十仙
- 苦力 二弗四十仙

亞國ニ於ケル労働者賃銀

苦力	製油業 一月八十弗 九十弗	助手	六十弗 七十弗
機械掛	(二) 挽鋸工 一日五弗五十仙 六弗 三弗五十仙 四弗 二弗五十仙 三弗	火夫	三弗五十仙 四弗 三弗 三弗五十仙
油掛	(三) 銅細工 一日四弗 四弗五十仙 五十仙 一弗 四弗 五弗 五十仙 一弗	助手	一月七十五弗 八十弗
見習	(四) 銅細工 二弗五十仙 三弗五十仙 四弗 四弗五十仙 四弗五十仙 一弗 五十仙 一弗	苦力	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
溶銅職	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	一弗五十仙 二弗 二弗 二弗五十仙
見習	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
裝飾職	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
見習	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
鋸目立	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
旋盤工	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
彫刻掛	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
鍍金掛	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
磨キ掛	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
ニツケル鍍金掛	二弗五十仙 三弗五十仙	半職	二弗五十仙 三弗五十仙 二弗五十仙 三弗五十仙
ワニシ調合掛	二弗五十仙 三弗五十仙	機械掛	百五十弗

半職人	百弗	苦力	七十五弗 八十弗
旋盤工	(六) 球突製造工 一日五弗 六弗 五弗 五弗五十仙	磨キ掛	四弗五十仙 五弗 一月七十弗 八十弗
球製造	(七) チョコレート製造 一月百三十弗 百六十弗 七十五弗 八十弗	苦力	一月七十弗 八十弗
職工	(八) 車輛製造 一日五弗 七弗五十仙 四弗五十仙 五弗 三弗五十仙 三弗八十仙 四弗五十仙 五弗五十仙	包裝掛	百弗 百十弗
苦力	(九) 製革業 一日三弗五十仙 四弗 二弗 二弗五十仙 五弗 六弗 三弗 四弗	車輛製造	四弗五十仙 五弗 六弗 八弗
車臺製造	四弗五十仙 五弗	仕上方 <small>(革使用)</small>	四弗五十仙 五弗
仕上方 <small>(鐵使用)</small>	三弗五十仙 三弗八十仙	車輛內張職	四弗五十仙 五弗
木材荒仕事	四弗五十仙 五弗五十仙	半職工	二弗八十仙 三弗四十仙 三弗 三弗五十仙 二弗 五弗
塗方	(十) 紙卷煙草 一月百八十弗 二百弗	發動力機械掛	三弗 三弗五十仙
製革職工	二弗 二弗五十仙	革磨キ掛	二弗 五弗
苦力	三弗 四弗	革染方	三弗 三弗五十仙
機械整理掛	三弗 四弗	機械掛	百三十弗 百五十弗
パテント革製造掛	三弗 四弗		
手工掛	一月百八十弗 二百弗		

亞國ニ於ケル勞働者賃銀

包 裝 掛	三十五仙—五十五仙(百個ニ付計算 普通受負ヲ多シトス)	煙 草 切 方	八十弗—八十五弗
整 理 掛	八十弗—九十弗		
苦 力	七十弗—八十弗		
職 工	(十一) プラツシ製造 一日四弗—四弗五十仙	半 職 人	三弗—三弗五十仙
毛 筆 製 造	四弗三十仙—五弗	半 職 人	三弗—三弗五十仙
見 習	一弗五十仙—二弗	特別専門家ハ五弗五十仙—六弗ノ貸銀ヲ得	
馭 者(會社備)	(十二) 馭車及自轉車運轉手 一月百二十弗—百五十弗	馭 者(私人備)	百弗—百五十弗
辻 馬 車	一日五弗—七弗	(或ハ食物ヲ給スル處アリ)	
葬 式 用 馭 者(二 等)	一月百六十弗—二百弗	葬 式 用 馭 者(二 等)	百卅弗—百五十弗
馬 丁	七十弗—八十弗	荷物扱自轉車運轉手	百卅弗—百五十弗
辻 自 動 車 運 轉 手	百十弗—百三十弗	自 動 車 運 轉 手(私 人 備)	百五十弗—二百弗
四 輪 荷 車 馭 者	(十三) 荷車馭者 一日四弗—四弗五十仙	二 輔 荷 車 馭 者	三弗五十仙—四弗
卸 賣 又 ハ 買 物	一月百弗—百二十弗	馬 丁	一月七十弗—七十五弗
配 送 荷 車 馭 者	六十弗—七十弗		
苦 力	(十四) 布團製造 一日四弗—五弗	半 職 人	三弗—三弗五十仙

截 ち 方	三弗—三弗五十仙	苦 力	一月七十弗—七十五弗
大 工 職	(十五) 大工 一日四弗—四弗五十仙	半 職 人	三弗—三弗五十仙
苦 力	一月七十弗—八十弗		
職 工	(十六) 器械製造大工 一日四弗—五弗	苦 力	二弗五十仙—三弗
見 習	(十七) 電氣職工 一日四弗—四弗五十仙	半 職 人	二弗八十仙—三弗
製 本 裝 飾 掛	(十八) 製本業 一日五弗—六弗	電氣職工賃銀ハ種々アルモ以上平均ヲ示ス	
帳 簿 製 本 掛	三弗六十仙—五弗六十仙	見 習	三弗—三弗二十仙
綴 方	四弗五十仙—四弗八十仙	半 職 人	三弗—三弗五十仙
板 紙 掛	三弗—四弗	糊 附 掛	四弗二十仙—五弗
紙 切 斷 掛	三弗六十仙—四弗八十仙	綴 込 掛	四弗—四弗四十仙
數 字 掛	四弗—五弗	表 紙 切 斷 掛	四弗—四弗二十仙
器 械 へ 紙 積 重 方	一弗八十仙—二弗四十仙	器 械 へ 紙 疊 方	四弗—四弗八十仙
條 線 掛	四弗八十仙—六弗	見 習	六十仙—一弗二十仙
紙 積 重 方	一弗二十仙—一弗六十仙	半 職 人	三弗—三弗二十仙
		見 習	八十仙—二弗二十仙

職工 (十九) 等製造  
 一日四弗—五弗四十仙  
 半職人 二弗—二弗五十仙  
 二弗五十仙—三弗

職工 (二十) 家具師  
 一日四弗—四弗五十仙  
 半職人 三弗五十仙—四弗  
 組立方 五弗—五弗五十仙  
 見習 二弗五十仙—三弗

此種ノ職工ハ其數少キヲ以テ右記載額ヨリ以上ノ賃銀ヲ得、殊ニ専門技術アルモノハ特別ノ賃銀ヲ受ク

(二十一) 製麵業

練方 (二十一) 製麵業  
 一日四弗—四弗五十仙  
 半職人 二弗—二弗五十仙  
 賣込掛 一月八十弗—九十弗  
 乾方 三弗五十仙—四弗

(二十二) 溶鐵

模型掛 (二十二) 溶鐵  
 一日四弗五十仙—五弗五十仙  
 溶解掛 三弗五十仙—五弗  
 見習 六十仙

本職人ノ數少キヲ以テ工場ニハ多少異ナル賃銀額ヲ仕拂フ

(二十三) 財布製造

機械掛 (二十三) 財布製造  
 一月百十弗—百三十弗  
 縫方 一月四弗五十仙—五弗五十仙  
 裝飾掛 一月八十五弗—九十五弗  
 助手 一月八十弗—九十弗

(二十四) 倉庫運搬人

運搬掛 (二十四) 倉庫運搬人  
 一日五弗—五弗五十仙  
 半職人 四弗—四弗五十仙

(二十五) 瓦斯職工

職工 (二十五) 瓦斯職工  
 一日四弗—五弗  
 半職人 三弗—三弗五十仙  
 苦力 一月七十弗—七十五弗

(二十六) 測金

測金職 (二十六) 測金  
 一月百八十弗  
 半職人 九十弗—百弗

(二十七) 武力職

見習 (二十七) 武力職  
 一日一弗五十仙—二弗  
 半職人 三弗—三弗五十仙  
 苦力 二弗五十仙—二弗八十仙

(二十八) 鍛冶

職工 (二十八) 鍛冶  
 一日五弗—五弗廿五仙  
 半職人 三弗五十仙  
 職工 (三等) 一日四弗五十仙—四弗八十仙  
 苦力 一月二弗八十仙—三弗  
 七十五弗—八十弗

(二十九) 印刷業

機械掛 (二十九) 印刷業  
 一日四弗六十仙—五弗四十仙  
 助手 三弗五十仙—三弗

紙積重掛 一月三十五弗—八十弗

此職工ハ數多キヲ以テ或工場ニハ右ノ表ニ依リ或工場ニハ競争相場ニ依ル從テ其間差異甚シトス

亞國ニ於ケル労働者賃銀

(三十) 商船  
 水夫 一月五十五弗—六十弗  
 倉庫掛 六十弗  
 一等火夫長 七十五弗—八十弗  
 三等火夫長 七十弗—七十二弗  
 石炭夫 五十弗—五十五弗  
 短艇運漕夫 五十弗  
 舵手 五十五弗—六十弗  
 點燈掛 六十弗  
 二等火夫長 七十弗—七十五弗  
 普通火夫 七十弗  
 荷物上下掛 五十五弗—六十弗

註 此等勞働者ハ八十噸迄運搬スルトキハ一日ニ付三弗—三弗五十仙、八十噸—百噸迄ハ三弗五十仙—四弗、百噸—二百噸迄ハ四弗五十仙—五弗、二百噸—三百噸迄ハ六弗—六弗五十仙、三百噸—四百噸迄ハ七弗—七弗五十仙、四百噸—五百噸迄ハ八弗—八弗五十仙、五百噸—六百噸迄ハ九弗—九弗五十仙、六百噸—七百噸迄ハ十弗—十弗五十仙、七百噸—八百噸迄ハ十一弗—十一弗五十仙、八百噸—九百噸迄ハ十二弗—十二弗五十仙、九百噸—千噸迄ハ十三弗—十三弗五十仙、千噸以上ハ割増ニ付テ、割増率ハ噸數ノ百分ノ一ニシテ、但シ千噸以上ハ割増率ハ噸數ノ百分ノ二ニシテ、祝祭日ニハ割増二弗、半夜ハ割増二弗、全夜ハ割増四弗

(三十一) 器具使用職工  
 職工 一日四弗五十仙—五弗五十仙  
 苦力 二弗五十仙—三弗  
 (三十二) 海上器械工  
 旋盤掛 一日六弗—七弗  
 半職人 三弗—四弗五十仙  
 見習 一弗五十仙—二弗五十仙  
 (三十三) 大理石工  
 半職人 二弗八十仙—三弗五十仙  
 見習 一弗—二弗  
 支橋索掛 一日五弗—六弗五十仙  
 苦力 一月三弗—五十仙  
 一月七十五弗—八十弗

職工 一日六弗—七弗  
 苦力 三弗—三弗五十仙  
 (三十四) Minervistas  
 商品掛 一月百弗—百十弗  
 半職人 七十弗  
 (三十五) 酒屋  
 職人 一月百三十弗—百五十弗  
 配布掛 百弗—百十弗  
 (三十六) 敷物製造  
 職工 一日四弗—五弗  
 絨氈職工 四弗—四弗五十仙  
 (三十七) 油布製造  
 職工 一日五弗五十仙—六弗  
 一月百八十弗—二百弗  
 (三十八) 石版術  
 彫刻掛 一日五弗六十仙—六弗  
 見習 六十仙—一弗六十仙  
 助手(二年間ノ經驗アルモノ) 三弗二十仙—五弗  
 紙取除方 一弗—一弗二十仙  
 準備掛 四弗—四弗五十仙  
 半職人 四弗—五弗  
 二等職工 九十弗—百弗  
 苦力 三十五弗  
 苦力(瓶詰掛) 八十五弗—九十弗  
 職工 六弗—八弗  
 絨職工 五弗五十仙—六弗  
 半職人 四弗五十仙—四弗  
 助手 二弗五十仙—三弗  
 石版機械掛 五弗四十仙—六弗  
 紙積重方 二弗—三弗  
 見習 六十仙—八十仙

亞國ニ於ケル勞働者賃銀



平面塗方 一日四弗八十仙  
 意匠掛 六弗  
 看板掛 四弗五十仙—五弗  
 見習 一日二弗  
 一月五十五弗—六十弗

船貨積卸 一日四弗  
 祝祭日及夜間勤勞ハ二倍  
 (四十) プエノスイレス港波止場労働  
 石炭運搬 四弗

麵粉練方 一月八十五弗—九十弗  
 助手 五十弗  
 型入レ方 七十弗  
 雜用労働者 三十五弗—四十弗  
 積卸方 三十五弗—四十弗  
 配達掛 三十弗

其他食事代トシテ一日一弗五十仙バン一基ヲ給セラ  
 (四十二) 仕立屋 百弗—百三十弗

服地裁チ方 一月百五十弗—三百弗  
 縫方 一日四弗—六弗(自宅内ニテ裁縫スルモノハ受負ニテ一日五弗乃至七弗ノ仕事ヲナス)  
 半職人 二弗—二弗五十仙  
 洋袴仕立方 一弗五十仙—二弗

胴着仕立方 一弗五十仙—二弗  
 (四十三) 馬具職 二弗五十仙—三弗  
 紐掛工 一日三弗五十仙—四弗  
 見習 一弗五十仙—二弗

苦力 一月六十弗—七十弗

職工 一日六弗—八弗  
 (四十四) 敷汚及經師職

見習工 一弗五十仙—二弗  
 (四十五) 電車鐵道 七十五弗—八十弗  
 苦力 一月八十弗—九十弗

運轉手 一日四弗  
 車掌 四弗

監視 四弗 (右三者賃銀ハ三箇月以上繼續ノモノニシテ又別ニ賞與ヲ與フルル規定アリ)  
 苦力 二弗五十仙—三弗

職工 一日四弗五十仙—六弗  
 半職人 三弗五十仙—四弗  
 見習工 一弗五十仙—一弗八十仙

一等職工 一日四弗八十仙—五弗六十仙  
 二等職工 四弗—四弗八十仙  
 半職人(二箇年ノ經 驗アルモノ) 二弗八十仙—三弗二十仙  
 見習 六十仙—二弗

(四十七) 印刷業  
 (四十八) 玻璃職 四弗—五弗  
 彫刻掛 一日六弗—六弗五十仙  
 綠截掛 四弗—五弗

光澤附掛 四弗—五弗  
 塗截掛 五弗—五弗五十仙  
 玻璃職工 四弗五十仙  
 瓶製造 三弗—四弗

瓶型吹込方 三弗五十仙—四弗  
 媛爐掛 五弗—六弗

亞國ニ於ケル労働者賃銀

壓 搾 掛

四弗—五弗

苦 力

一月七十弗—七十五弗

職 工

一日六弗—七弗

半 職 人

四弗—五弗

職工ハ仕事ノ多キ時ハ一日九弗ノ賃銀ヲ受ク

◎幼年職工

幼 年 職 工

一日八十仙—一弗八十仙

受賃 二弗五十仙—三弗廿仙

幼 年 者

一日一弗四十仙—一弗八十仙

幼 年 者

一日一弗二十仙

紙 積 重 方

一月四十弗—五十弗

紙 取 除 方

三十五弗—四十五弗

製 本 見 習

二十弗—三十弗

製 本(上達者)

三十五弗—五十弗

折 方

三十五弗—四十弗

數 字 掛

三十五弗—五十弗

印 刷 掛 見 習

四十弗—五十弗

配 布 掛

五十弗—六十弗

幼 工

一月五十弗—六十弗

紙 卷 煙 草

五十弗—六十弗

婦 人

一月三十五弗—四十弗

包 裝 掛

五十弗—七十弗

器 械 掛 見 習

三十弗—五十弗

(一日四百乃至六百個包裝ノ義務アリ)

幼 工

一日一弗二十仙—一弗八十仙

受賃 一弗八十仙—二弗廿仙

日ニ仍リ就働スルモノハ時間外餘業トシテ五割ノ役徳ヲ受ルコトヲ得

幼 工

一日一弗四十仙—二弗

八 十 仙

幼 工

一日八十仙—一弗五十仙

(此賃銀ハ三箇月間見習ノ後ニ受ルモノナリ)

切 斷 掛

一日一弗—一弗八十仙

旋 盤 工 見 習

八十仙—一弗

探 色 掛

受賃千箇ニ付二十仙

包 裝 掛

三十仙

幼 工

一日五十仙

成 型 方 見 習

八十仙—一弗二十仙

縫 方 見 習

八十仙—一弗五十仙

踵 製 造 見 習

八十仙—一弗

鉢 力 工 見 習

八十仙—一弗五十仙

鉛 管 工 見 習

八十仙—一弗五十仙

鉢 力 工 並ニ鉛管工(重ニ便所)

五十仙—一弗二十仙

白 堊 製 造

五十仙—一弗二十仙

亞 國ニ於ケル勞働者賃銀

三〇九

見 習 一日八十仙—一弗五十弗  
 (十四) ベンキ塗  
 見 習 一日一弗—一弗二十仙  
 (十五) 理髮職  
 一月十弗—十五弗  
 (十六) 器械工場  
 釜掛 見 習 一日一弗五十仙  
 (時間外餘業ハ七割五分ノ割増、工場以外モ同シク七割七分ノ割増)  
 (十七) 仕上職 (荷造包装等)  
 一日五十仙—八十仙  
 (十八) 旋盤工  
 見 習 一日五十仙—一弗  
 (十九) 鍛冶  
 見 習 一日五十仙—一弗  
 (二十) 溶鑄職  
 見 習 一日一弗—一弗五十仙  
 (二十一) 銅細工  
 一日五十仙—一弗  
 (二十二) 挽鋸工並ニ大工  
 見 習 一日一弗二十仙—一弗四十仙  
 器具製造見習 五十仙—一弗  
 木材彫刻見習 五十仙—一弗

◎婦人労働

(一) 麻靴製造

麻整理掛 一弗八十仙—二弗二十仙

(此職ニ従事スル婦人ハ大半幼年者ナリトス)

(二) 靴工

成型方小形 一打三付一弗五十仙

成型方大形 一打三付一弗九十仙

(三) 洗濯熨斗掛

熨斗カケ(糊附) 一日二弗—二弗五十仙

(四) 理髮

髮結ヒ 一月百二十弗—百四十弗

(五) 下着製造

截チ方 一日三弗—四弗

鈕穴掛 二弗八十仙—三弗二十仙

(此種類ノ職業ハ重ニ仕上高ニ仍ル)

(六) 織物

亞國ニ於ケル労働者賃銀

截斷方 一弗二十仙—一弗五十仙

光澤附方見習 五十仙—八十仙

成型掛(平均) 二弗五十仙—三弗

成型方中形 一打三付一弗七十仙

平均 一日二弗八十仙—三弗五十仙

衣服熨斗カケ(糊無) 二弗五十仙—三弗

入レ毛職 百四十弗—百八十弗

縫方 二弗五十仙—三弗

(以上ハ上達女工ノ得ル賃銀ナリ)

織斗方 一日一弗九十仙—二弗三十仙  
縫方 二弗三十仙、二弗四十仙、二弗六十仙  
裁チ方 月給百弗—百五十弗

◎十時間就働

(七) 財布製造

裁チ方(一圓三付八仙ノ受負) 一日三弗—四弗

縫方(千圓受負) 二弗八十仙—四弗

助手(幼工) 一弗—一弗二十仙

(八) 砂糖漬果物場

看守 一月九十弗—百十弗

(此製造場使用者ハ幼年者ヲ多シトス、菓物ヲ洗滌シ或ハ漬ルニ際シ一基ニ付二仙乃至三仙ノ割ヲ以テ仕拂フ)

(九) 婦人服仕上

仕立(裁チ方) 一月百三十弗—百五十弗

仕方(部屋着) 一日三弗—三弗五十仙

仕方(袴) 一日三弗廿仙—三弗七十五仙

部屋着、袴仕立監督 四弗—四弗五十仙

半職人 一弗五十仙—二弗

帽子職 二弗五十仙—三弗

下着裁チ方 三弗—三弗五十仙

下着縫方 二弗—二弗五十仙

監督方 二弗五十仙—三弗

(十) 仕立屋

洋袴仕立受負一日三付二弗—二弗五十仙

胴着仕立 一弗八十仙—二弗

(上達者ハ一日ニ洋袴、胴着共ニ一着ヲ仕上ケ得ルヲ以テ一日三弗乃至三弗廿仙ヲ受ルコトヲ得ヘシ)

(十一) 縫箱製造

縫箱棒使用 一日一弗五十仙—二弗五十仙

縫箱計使用 二弗五十仙—三弗

縫箱計使用 三弗—四弗五十仙

縫箱同糸上 四弗—五弗五十仙

(十二) 寫真石版

寫真板 一月百弗—百二十弗

印刷掛 九十弗—百弗

數字掛 一日二弗五十仙—三弗

折り方 二弗—二弗五十仙

(十三) 染抜職

裁縫方 一日三弗—三弗二十仙

熨斗方 二弗—二弗五十仙

深抜方 二弗五十仙—三弗五十仙

(十四) コルセット製造

裁チ方 一月百弗—百五十弗

監督 九十弗—百二十弗

職工 一日三弗—三弗五十仙

◎第二 亞國地方部ニ於ケル労働者賃銀

(一) 「コリエンテス」州

左官苦力

左官(職工) 二弗五十仙—五弗

大工(職人) 二弗五十仙—四弗五十仙

鍛冶(職人) 二弗五十仙—五弗

下婢 一月八弗—十五弗

炊事女中(私家傭入) 十弗—二十五弗

菓子屋 四十弗—八十弗

番頭 二十弗—百二十弗

鍔工 三十弗—八十弗

備ハレ人 一日一弗八十仙—三弗

洗濯 一打ニ付四十仙—五十仙

機械掛 一月七十五弗—百弗

エルハ茶粉末掛 包装一基ニ付一仙ノ割	珈琲店給仕	一月三十五弗—四十五弗
旅店給仕	パン屋麵粉練方	七十弗
パン屋型入レ方	同 包装掛	三十五弗
同積卸掛	同 器械掛	三十弗
機械場苦力	農場苦力	一日一弗三十仙—一弗八十仙
銀細工	理髮職	一月三十弗—七十弗
ペンキ塗及壁紙張 仕事口ニ仍ル	ペンキ塗裝飾方	一日八弗
炭斗掛 下着一着二十仙襪、袖口、各一個ニ付五仙	仕立職	一月四十弗—八十弗
(仕事ノ種類、成績ニ仍リ異ナリ、職人春廣一着ニ付五弗乃至九弗ヲ得)		
受賃洋袴一着ニ付	受賃胸着一着ニ付	一弗五十仙—五弗
燕尾服同	モーニング同	十二弗—十五弗
フロックコート同	外套同	十弗—十五弗
スモーキング	印刷監督	一月五十弗—百二十五弗
印刷職工	靴工	一月六十弗—八十弗
靴工半職人		
一月二十弗—二十六弗		
(二) サンタ、ローサ、ア、トアイ中央バムバ州		
左官	大工	五弗—五弗五十仙
仕立職(婦人)	番頭	一月四十弗—七十弗
一日三弗—四弗	園丁	一月五十弗—六十弗

製粉職	一月八十五弗—百弗	夫婦勞働	八十弗—百二十弗
パン屋	七十弗—八十弗	時計屋	一日三弗五十仙—四弗
仕立屋(男子)	一月六十弗—七十弗	下婢	四十弗—五十弗
印刷業	八十仙—百二十弗	靴工	一日三弗五十仙—四弗
(三) フワイ州			
大工一等	一日三弗五十仙—四弗	大工二等	二弗五十仙—三弗
苦力	二弗—二弗五十仙	鍛冶一等	三弗五十仙—四弗
鍛冶二等	二弗五十仙—三弗	苦力	二弗—二弗五十仙
左官一等	四弗—五弗	左官二等	三弗—三弗五十仙
雜業苦力	二弗五十仙—二弗七十仙	苦力	二弗—二弗五十仙
男子用縫込短靴工	四弗—四弗五十仙	男子用縫込長靴工	四弗—四弗五十仙
男子用釘打短靴工	一弗五十仙—二弗七十仙	男子用釘打長靴工	一弗五十仙—二弗七十仙
婦人用縫込短靴工	五弗	婦人用縫込短靴工	一弗四十仙—二弗
十五世踵附短靴	四弗—四弗五十仙	鉛管工	二弗五十仙—四弗
鍼力職	四弗—四弗五十仙	仕立職受賃 背廣一着ニ付	十二弗
苦力	四弗—四弗五十仙	同 フロックコート	二十五弗
仕立職受賃 モーニング	十八弗	同 燕尾服	三十五弗
同 外套	十八弗	同 膠着	三弗
同 洋袴	三弗	馬具職二等	二弗五十仙—三弗
馬具職一等	一日四弗—四弗五十仙		

亞國ニ於ケル勞働者賃銀

苦力	二弗—二弗五十仙	理髮一等	一月九十弗—百弗
理髮二等	五十弗—六十弗	苦力	三十五—四十弗
印刷業一等	一日三弗—三弗五十仙	印刷業普通	一日二弗三十仙—二弗五十仙
苦力	三弗—三弗五十仙	パン焼煉方	四弗—五弗
パン型入	三弗五十仙—四弗	同職人	二弗—二弗五十仙
配達掛	一月五十弗—六十弗	銀細工	一日一弗五十仙—二弗
ペンキ塗	仕事口ニ仍ル	電気職工(巧拙ニ仍ル)	一月九十弗—二百弗
器具職工(巧拙ニ仍ル)	九十弗—二百弗	機械工(同)	七十弗—百弗
煉瓦工	千個ニ付七弗	泥瓦工	千箇ニ付十二弗
瓦工	同 二十五弗	石割	一日三弗—五弗
ペンキ塗	(四) メンドサ州 一日四弗—六弗	大工	四弗—六弗
左官	四弗—六弗	鍛冶	三弗五十仙—五弗五十仙
汽罐掛	四弗—五弗五十仙	車輛製造	四弗—六弗
鋳力工	三弗五十仙—五弗	樽工	三弗五十仙—五弗
大理石工	三弗五十仙—五弗五十仙	馬具	四弗—六弗
靴工	四弗—六弗五十仙	敷物、壁張職	三弗五十仙—五弗
パン屋	三弗五十仙—四弗五十仙	印刷	三弗五十仙—五弗
仕立屋	五弗—七弗	電気職工	五弗—七弗

理髮 一月八十弗—百二十弗  
 (五) ラ、リオハ州 (土地比較的廉價ニシテ且ツ小區劃ニ分タレ産物運送ニ便アリ)

左官	一日五弗	汽罐掛	百八十弗—二百三十弗、三百弗
煉瓦工	四弗	大工	四弗
仕上前煉瓦工	三弗五十仙	瓦工	三弗二十仙
取車並ニ荷車夫食事附	一月四十五弗	泥瓦工(仕事高)	十弗
鋳力工	一日四弗	鍛冶	一日四弗
洗濯及熨斗	一打ニ付一弗	苦力	八十仙—二弗
鑛山車輛掛	三弗	洗濯及熨斗(下着一個ニ付三十仙)	一弗六十仙
石割(末石並ニ鑛用花崗石仕事)	八弗—四弗三十五仙	模細工瓦	一弗六十仙
ペンキ塗(戸、窓)	六弗—八弗	ペンキ塗(平面並ニ額面)	表ナシ
飲食店料理人	一月二十五弗	ホテル料理人	一月百弗
小間使	十弗	家庭用料理人	三十五弗
左官(八時間就働)	(六) サルタ州 三弗五十仙—五弗	奴僕	四十弗
家具工(同)	四弗—六弗	大工(八時間就働)	三弗—四弗
ペンキ塗裝飾掛(同)	六弗—十弗	ペンキ塗(同)	三弗—四弗
印刷工(仕事向)	三弗—四弗	靴工(仕事向)	三弗—六弗
料理人(家屋供給)	一月六十弗—百弗	鍛冶(八時間就働)	二弗五十仙—三弗
		菓子製造(家屋供給)	八十弗—百五十弗

亞國ニ於ケル労働者賃銀

料理店菓子屋給仕

五十弗—六十弗

(七) ボサダ、ミノオネス領地

水運搬販賣掛(家屋食事附) 一月十二弗

左 官二等 一日四弗

同 助 手 二弗五十仙

大 工 一等 四弗五十仙

同 見 習 三弗

馬丁(主家附家屋食事附) 一月三十弗

料理人(小旅店食事添) 三十弗

同 商店(同) 五十弗

同 汽船(同) 六十弗

荷車取者監督 七十弗

同 私家使用人 三十弗

取者(會社使用人) 仕事高ノ二割

辻取者(數時間引繼ノ場合) 一弗

電氣工 助手 一月四十五弗

同 夜 番 三十五弗

製麵職工長 五十五弗

火夫 汽 船 六十弗

苦力(食事ナシ) 一日二弗—三弗

三二八

左 官 一等 一日五弗

左 官 見 習 三弗

挽 鋸 工 二弗五十仙

大 工 二等 四弗

馬 丁 一月三十弗

料理女(食事添) 二十五弗

料理人(料理店(食事添)) 三十五弗

同 ホテル(同) 六十弗

同 助 手(同) 三十弗

荷車取者(會社使用人) 三十五弗

御者(私家常備) 三十弗

辻 取 者 一時間 一弗五十仙

電氣工 長 一月百五十弗

同 電線掛 四十弗

調 劑 方 三十五弗

製麵 職 人 四十弗

火夫 小 蒸 汽 四十弗

同 製造所 五十五弗

同 編 掛 一日六弗

鍛 冶 電 氣 三弗

同 器 械 十五弗

園丁(私家備入食事附) 二十五弗

機關手(食事附汽船) 百弗

同 同 六十弗

同 換 鋸 場 六十弗

同 パン焼長(食事附) 六十弗

同 二等職人 三十弗

同 苦力(家庭 食事附) 二十弗

同 馬丁(同) 二十弗

同 農 園 (アルファルファ) 六十弗

同 泥 瓦 五十弗

同 波 止 場(夜間勤務) 六弗

同 同 晝間勤務長 六弗

仕 立 屋 二弗

屋 根 葺 三弗

漁船(船長食事附) 一月百八十弗

亞國ニ於ケル労働者賃銀

三一九

汽船事務長	一月九十弗	同一等運轉手	二百弗
同一等運轉手	百弗	同水夫長	六十弗
同水夫	四十弗	靴工(食事附)	三十弗
苦力(鐵道)	一日二弗六十仙—二弗七十仙	苦力(地方開墾地)	一月四十弗—五十弗
同(農場鋤掛)	一月四十弗—四十五弗	同(炊事場)	四十弗—四十五弗
同(私家傭入)	四十弗—五十弗	料理人	六十弗—百弗
左官	一日五弗—六弗	鍛冶	四弗—六弗
大工	四弗—六弗	ペンキ塗	四弗—五弗
仕立人	一月七十弗—八十弗	理髮	五十弗—六十弗
靴工	四十弗—五十弗	奴僕	二十五弗—五十弗
乳母	六十弗—八十弗	料理女	四十弗—六十弗
煉瓦工	七十弗—九十弗	パン屋鋸掛	五十弗—六十弗
荷車取者	六十弗—七十弗	番頭(食料品店)	三十五弗—六十弗
番頭(一般商店)	四十弗—八十弗	同(事務所)	八十弗—百五十弗
給仕人(旅館)	四十弗—六十弗	印刷工	八十弗—百弗
配達人	五十弗—八十弗	製麵職	六十弗—八十弗
パン焼長	八十弗—九十弗	パン型入レ掛	六十弗—七十弗
同助手	五十弗—六十弗	同機械掛	四十弗—五十弗

左官 苦力	一日二弗五十仙—三弗	洗濯(婦人)	一弗三十仙—一弗七十仙
炭斗掛(婦人)	二弗五十仙—三弗五十仙	取者(家族用)	一月八十弗—百弗
取者(貨車)	(貸銀ヲ取ルモノハ收入ノ二割)	夫婦労働(私家傭入)	七十弗—百二十弗
鋺力工	一日五弗—六弗	馬丁	一月二十五弗—三十弗

亞爾然丁國ニ於ケル物價一斑

物	品	フエンタ	サンチヤコ	コリエンテ	サンフラン	フイ	メンドサ
ブレメン砂糖	一等	〇三〇	〇三五	〇三五	〇三五	〇二五	〇四〇
ツクマン砂糖	二等	〇四五	〇四〇	〇五〇	〇四五	〇三〇	〇四〇
油		一〇〇	一二〇	一二五	〇九〇	一〇〇	一一〇
牛肉		〇三〇	〇三五	〇二五	〇四〇	〇四〇	〇四〇
伯國咖啡		〇七〇	二六〇	一二〇	一〇〇	〇八〇	〇九〇
小麥粉		〇一五	〇二〇	〇二〇	〇二〇	〇二〇	〇二〇
玉蜀黍粉		〇一五	〇三〇	〇一五	〇三〇	〇一五	〇一五
玉蜀黍粒		〇〇六	〇一〇	〇一五	〇一〇	〇一〇	〇一〇
牛乳(リットル)		〇一五	〇二〇	〇二五	〇二〇	〇二〇	〇二〇
ハ(二等)		〇二五	〇三〇	〇二五	〇三〇	〇三〇	〇三〇
馬鈴薯		〇一五	〇二〇	〇二〇	〇二〇	〇一〇	〇一五
豆		〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇三〇	〇一五	〇三〇
鹽		〇〇五	〇〇五	〇〇六	〇一〇	〇〇五	〇一〇
小麥		〇一五	〇三〇	—	〇二〇	〇一〇	〇二〇
亞國製葡萄酒		〇三五	〇三五	〇四〇	〇二〇	〇三五	〇二〇
牧草		〇八〇	〇七五	〇八〇	一〇〇	〇六〇	〇八〇
石炭		一二〇	〇七五	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
石寸(打)		〇四〇	〇四〇	〇六〇	〇四〇	〇四五	〇三五
石輪(ハラ)		〇二〇	〇六〇	〇三〇	〇三〇	〇三〇	四〇〇

亞爾然丁國ニ於ケル物價一斑



ケロセン(一リットル)	〇三五	〇三〇	〇三五	〇四〇	〇四〇	〇三五
薪(百束)	一八〇〇	一〇〇	一〇〇〇	二五〇	二五〇	三〇〇
煙草(一基)	二〇〇	二七五	三五〇	二〇〇	〇八〇	二一〇

其二

物	ラ、リオハ	サルタ	ラ、ロサリスデ、 ラ、フロレンテ	ボサダス	アラ、インカ	平均
ブレメン砂糖	〇三五	〇三〇	〇三〇	〇三〇	〇二五	〇三八一
ワタマン砂糖(二等)	〇五〇	〇四〇	〇四〇	〇五〇	〇四五	〇四三一八
油	二八〇	一六〇	一三〇	一〇〇	一〇〇	一二九五四
牛肉	〇三〇	〇四〇	〇三〇	〇四〇	〇三五	〇三五
伯國咖啡	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	〇九〇	一一〇
小麥粉	〇二五	〇二〇	〇一五	〇一〇	〇二〇	〇一九五四
玉蜀黍粉	〇二〇	〇一〇	〇一〇	〇一〇	〇二〇	〇一九〇九
玉蜀黍粒	〇一〇	〇一五	〇一〇	〇一〇	〇一〇	〇二〇五四
牛乳(一リットル)	〇二〇	〇一五	〇二〇	〇四〇	〇二五	〇二七三
バネ(二等)	〇二五	〇二五	〇三〇	〇三〇	〇二五	〇二七〇九
馬鈴薯	〇二〇	〇一五	〇二〇	〇二〇	〇二〇	〇二八六三
豆	〇三〇	〇二〇	〇二五	〇三〇	〇三〇	〇三〇七三
小麥	〇一五	〇二〇	〇一〇	〇一〇	〇一〇	〇〇八七二
亞國產葡萄酒	〇一五	〇二五	〇一五	〇一〇	〇一〇	〇〇五
牧草	〇三〇	〇四〇	〇四五	〇四〇	〇四〇	〇三五
石炭	一〇〇	〇五〇	〇八〇	〇五〇	〇五〇	〇七一八
磚	一〇〇	〇一五	一三〇	二五〇	三〇〇	〇七九
石(打)	〇六〇	〇五〇	〇五〇	〇四〇	〇三〇	〇四〇九
クハセン(一リットル)	〇三〇	〇三〇	〇四〇	〇三〇	〇二五	〇三三三八
薪(百束)	七〇〇	三〇〇	一三〇	七二〇	一六〇	〇三三六三
煙草(一基)	二〇〇	〇五〇	一三〇	二〇〇	一六〇	一八六八

(以上一千九百十年九月亞國勞動局公報)

移民ニ關スル法律

一千八百七十八年十月十九日移民法摘要

移民

第十二條 本法ニ於テ移民ト稱スルハ年齢六十歳以下ノ品行端正ニシテ業ニ堪ヘ流船又ハ帆船ノ二等又ハ三等ノ船賃ヲ拂ヒ、又ハ國家、州、又ハ移民殖民法ノ保護ノ下ニ立ツ私立會社ヨリ其運賃ノ仕拂ヲ受ケ定住ノ目的ヲ以テ共和國ニ到來スル苦力、手藝者、工藝者、農業者及教師ノ一切ヲ謂フ

第十三條 此條件ノ下ニ立ツ者ニシテ移民ノ稱號ノ便宜ヲ享ルコトヲ欲セサルモノハ乗船當時船長ニ之ヲ申出ツルトキハ船長ハ之ヲ航海日誌ニ記入スヘシ、或ハ上陸港ノ海務官憲ニ之ヲ通知スヘシ此等ノ場合ニ於テ普通旅客トシテ取扱ハル、コトヲ得ヘシ

此規定ハ殖民地又ハ共和國其他ノ地方ニ向ツテ渡航スル契約移民ニ之ヲ適用スルコトヲ得ス

第十四條 移民ノ品行端正ニシテ各種ノ工業、技術其他有益ナル業務ニ堪ユル事ヲ十分承認セラレタルモノハ凡テ入國ニ際シ左ノ便宜ヲ受ル特權ヲ有ス

- 一、第四十五條、第四十六條及第四十七條ノ規定セル期間國家ノ費用ニ依リ宿泊飲食スルコト
- 二、希望ニ應シ國內ニ存在スル勞働又ハ工業ニ就職セシムルコト
- 三、共和國內其住所ヲ決定セントスル地方ニ至ル迄國家ノ費用ヲ以テ旅行セシムルコト
- 四、日用品、被服、自家用家具、農具、什器、器具、手藝及工藝用器、及ヒ各成年者ニ對シテハ獵銃一挺宛ヲ行政部ニ於テ規定セル相當價格迄無稅輸入ヲナスコト

第十五條 前條ノ規定ハ移民ノ婦人及小兒ニシテ成年ニ達シ品行端正ニシテ業務ニ堪ユト認めラル、モノニ之ヲ適用ス

移民ニ關スル法律

ルコトヲ得

第十六條 移民ノ品行端正ニシテ業務ニ堪ユトノ承認ハ外國ニ於ケル共和國ノ領事又ハ移民代理人ノ證明、又ハ移民本國官憲ノ證明ニシテ共和國ノ領事又ハ移民代理人ノ公認シタルモノニ仍リ之ヲ爲スモノトス

(註) 亞國ノ現在ニ於テハ外國駐在ノ移民代理人ハ一人モ無シ

第十七條 共和國内殖民地トノ農業契約移民又ハ此等地方ニ向ハントスルモノハ旅費ノ前渡、土地ノ讓渡、耕作ノ便宜其他ニ關シ本法第二章第三章ノ規定セル特別ノ便宜ヲ享有スルコトヲ得

(註) 旅費ノ前渡並ニ旅費ノ補助等ハ目下實行セラレス

移民委員會

第六條 行政部ハ中央移民局ニ隸屬シ各州首府移民ノ上陸地又ハ其他必要ノ港ニ移民委員會ヲ任命スルコトヲ得

勞働周旋局

第九條 「ブエノス、アイレス」ノ移民局及各地方ノ委員會ハ必要ノ場合ニハ其直接隸屬ノ下ニ豫算法ノ定ムル處ニ從ヒ定數ノ書記ヲ使用スル勞働周旋局ヲ設立スルコトヲ得

第十條 此等勞働周旋事務局ノ義務權限ハ左ノ如シ

- 一、教師、手工、勞働者又ハ力役者ノ注文ニ應スルコト
  - 二、移民就職ニ際シ移民ニ有益ナル條件ヲ提供シ及ヒ移民僱主ノ身元確實ナルコトヲ注意スルコト
  - 三、移民ノ要求ニ依リ契約内容ノ實行ヲ確保シ及ヒ僱主ノ契約ヲ履行スルヤ否ヤヲ監督スルコト
  - 四、特別登記簿ヲ設ケ關係移民就職數、決定日附、勞働ノ種類、契約ノ條件及ヒ關係者ノ姓名ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第十一條 地方ニ依リ勞働周旋局ノ存在セサル處ニ在テハ此等ノ特權義務ハ移民委員會ニ屬スルモノトス

移民ノ宿泊及食事給與

第四十二條 「ブエノス、アイレス」、「ロサクオ」及其他ノ市府ニシテ移民充溢ノ理由ニテ其必要アル處ニハ此等移民ノ一時宿泊用ノ爲ニ家屋ヲ建設スルコトヲ得

(註) 現ニ「ブエノス、アイレス」市「バイア、プランカ」港ニ移民收容「ホテル」アリ

第四十三條 此等家屋ニハ豫算法ニ依リ規定スル一定ノ使用人ヲ使用シ移民局又ハ其附屬委員會ニ直接隸屬スルモノトス

第四十四條 移民家屋ノ存在セサル處ニ於テハ其地委員會ハ公共ホテル又ハ其他適當建築物ヲ以テ宿泊食事をニ該ツルコトヲ得

第四十五條 各移民ハ上陸後五日間國家ノ費用ニ依リ宿泊及ヒ食事給與ヲ受ル權利ヲ有ス

第四十六條 上陸後五日間ヲ過キ尙病氣不良ニシテ轉地ヲ許サ、ル事情存在スル場合ニ於テハ同地滞在間ノ宿泊食事給與ノ費用ニ國家ノ負擔タルヘキモノトス

此等ノ場合ヲ除キ此家屋内ニ移民ノ滞在尙五日以上ニ及フトキハ八歳以上ノ者ニハ一人ニ付一日硬貨半弗、八歳以下ノ小兒ニハ廿五仙宛仕拂フヘキモノトス

第四十七條 國有殖民地ニ係ル國家ノ契約移民ニ關シテハ前條ノ規定ハ之ヲ適用セス、此場合ニ於テハ移民ハ其目的地ニ到達スル迄宿泊並ニ食事給與ヲ受ル權利ヲ有スルモノトス

移民ノ入用及職業周旋

第四十八條 勞働周旋局又ハ移民委員會ハ各移民ノ希望ニ應シ手工、工業又ハ其他ノ職業ニ就職セシムル爲ニ及フ丈ノ盡力ヲ爲スヘシ

第四十九條 此職業周旋ハ可成移民ノ到着後當初五日間内ニ於テシ出來ル丈ノ有利ナル條件ノ下ニ之ヲ爲スヘシ

第五十條 勞働周旋局又ハ移民委員會ハ當事者ノ請求ニ依リ契約ニ際シ之カ履行ヲ保障セシムル周旋ヲ爲スコト

第五十一條 移民ニシテ共和國地方ノ何レカ又ハ殖民地ノ一部ニ住所ヲ設定セントスルトキハ何等ノ費用ヲ要セスシテ直ニ其家族並ニ荷物ト共ニ其目的地ニ送附セラレヘシ

第五十二條 移民ハ州地方部ニ向フ場合ニハ到着後十日間ハ移民委員會ヨリ宿泊及食事給與ヲ受ル權利ヲ有ス、此期間經過ノ後ハ八歳以上ノ者ハ一人ニ付一日硬貨半弗、八歳以下ノ小兒ハ廿五仙ヲ仕拂ハサル可ラス、但シ病氣重大ナル

場合ニハ其期間經過後尙國家ノ費用ニ依リ生活スルコトヲ繼續スルコトヲ得

第五十三條 殖民地ニ到着ノ上ハ本法第二章第三章ノ規定スル便益ヲ享ルコトヲ得

第五十四條 移民ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ前條ノ規定ヲ利用シ共和國ノ領地ヨリ外國ニ向フコトヲ得ス、此場合ニハ船賃、上陸、宿泊、給與、旅費等仕拂ハレシモノニ向テ辨償スルコトヲ要ス

第五十一條 移民ニシテ共和國地方ノ何レカ又ハ殖民地ノ一部ニ住所ヲ設定セントスルトキハ何等ノ費用ヲ要セスシテ  
 直ニ其家族並ニ荷物ト共ニ其目的地ニ送附セラレヘシ

第五十二條 移民ハ州地方部ニ向フ場合ニハ到着後十日間ハ移民委員會ヨリ宿田及食事給與ヲ受ル權利ヲ有ス、此期間  
 經過ノ後ハ八歳以上ノ者ハ一人ニ付一日硬貨半弗、八歳以下ノ小兒ハ廿五仙ヲ仕拂ハサル可ラス、但シ病氣重大ナル  
 場合ニハ其期間經過後尙國家ノ費用ニ依リ生活スルコトヲ繼續スルコトヲ得

第五十三條 殖民地ニ到着ノ上ハ本法第二章第三章ノ規定スル便益ヲ享ルコトヲ得

第五十四條 移民ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ前條ノ規定ヲ利用シ共和國ノ領地ヨリ外國ニ向フコトヲ得ス、此場合ニハ  
 船賃、上陸、宿田、給與、旅費等仕拂ハレシモノニ向テ辨償スルコトヲ要ス

佛領「タヒチ」群島視察報告書

# 佛領「タヒチ」群島視察報告書

(明治四十四年十二月)

## 目次

### 總論

#### 第一章 「マカテア」島本邦移民事情

第一節 位置及地勢

第二節 氣候

第三節 交通

第四節 磷礦會社ノ事業

第五節 勞働狀態

第六節 勞銀

第七節 生活狀態

第八節 將來

#### 第二章 「タヒチ」島事情一斑

第一節 地理的地勢

第二節 沿革

第三節 佛國統治現狀

第四節 產業及勞働狀態

第五節 風俗

第六節 本邦人ノ氣受ケ

第七節 將來

# 佛領「タヒチ」群島視察報告書

(明治四十四年十二月二十六日付  
在ホノルル、帝國總領事館提出)

外務書記生 中 村 修

## 總論

小官今回命ヲ承ケテ太平洋洲「ソサイター」群島中「マカテア」島ニ就働セル本邦移民ノ状態ヲ視察センカ爲メ先ツ「タヒチ」島ニ至リ更ニ「マカテア」島ニ航行セリ面シテ地理上ノ名トシテハ「タヒチ」島モ「マカテア」島モ等シク此群島ニ屬セル島嶼ニシテ「タヒチ」ニ群島ノ名ヲ冠シ「マカテア」島ヲ之カ群系中ニ屬セシムルハ其當ヲ得タルモノニアラサレトモ「タヒチ」島ハ太平洋洲中「ニュー、カレドニア」ヲ除ケル此地方一帯ノ佛領諸島ヲ統轄セル政府ノ所在地ニシテ且ツ「マカテア」ハ「タヒチ」ヲ距ル東北百二十哩ニ過キス爲ニ通例「タヒチ」群島中ニ隸屬セルモノトナスモノ多シ依リテ姑ク便宜ノ爲メ本報告書ニモ「タヒチ」群島ノ名稱ヲ付スルコト、セリ

## 第一章 「マカテア」島本邦移民事情

### 第一節 位置及地勢

位置及ヒ  
形状  
「マカテア」島ノ位置ヲ語ルニ先チ「タヒチ」島ノ位置ヲ知ルヲ便宜トスヘシ同島ハ北米合衆國桑港ヨリ西南約三千六百哩ヲ隔テ南緯十六度十八分西經百四十八度十五分ニ位シ所謂「ソサイター」群島中ノ宰タリ、而シテ「マカテア」島ハ之ヨリ東北百二十哩ヲ隔テタル一孤島ニシテ廣袤一萬二千噓ニ過キス遠ク之ヲ望メハ白色ノ巖巖々々割成セルカ如ク而シテ中央凹平恰モ摺鉢狀ヲ爲シ之ニ叢生セル椰子樹ハ外ヨリ多ク見ルヘカラス僅ニ雜生ノ矮樹點綴セルヲ見ル其形艦船ノ泛ヘルニ似タリ古昔ハ此近海ノ多クノ島嶼ノ如ク珊瑚礁ノ一ナリシカ所謂隆起 (Uplift) ノ作用ニ依リ突起高ク海面ヲ拔

東島モ元  
ハ珊瑚礁

キ環内ノ海水ハ乾潤シテ陸地トナリタルモノナルコト疑フヘカラス斷崖高サ百六十呎ニ及ヒ目下佛國礦會社ノ施設ニ係ル「インクライン」ヲ以テ人馬及ヒ貨物ヲ揚卸シツ、アリ島内ハ海綿狀ヲ爲セル珊瑚塊ノ磊々トシテ相蔽塞シテ路ノ通シ難キ所アリ其他ハ之カ細末白色ノ土壤ヲ形成シ椰子樹幾ント全部ヲ掩ヒ其他ノ雜樹其間ニ生ス背部ハ斷崖ノ下海岸ニ沿ヒ稍ヤ廣キ平地アリ玆ニ土人ノ部落ヲ爲ス人口約三百ヲ數フルニ過キス此處ニ「タヒチ」島佛國知事(Governor)ノ配下ヘ立テ「Special Agent」及ヒ憲兵屯在シテ十數人ノ土人巡查ト共ニ一般行政、警察、收稅、郵便等ノコトヲ司ル、島内湧水無ク用水ハ一ニ之ヲ降雨ニ仰キ檐滴ヲ水槽ニ導キ之ヲ貯溜ス

第二節 氣候

氣候ハ「タヒチ」島ト大差ナケレトモ本島ハ地形扁平ニシテ山谿茂林ノ暑熱ヲ緩和スル無キ代リ一方斷ヘス吹キ來ル貿易風ヲ遮蔽スル無キ爲メ温度大差ナク赤道ニ近キ割合ニ暑氣ハ烈シカラスシテ最高九十度ニ上ラス最低ハ三四月ノ交ニテ六十五度ヲ降ラス且ツ夜間ハ殊ニ冷涼ヲ覺エ盛暑ノ頃ト雖モ本邦本土ノ中夏ヨリハ凌キ易キヲ覺ユ今千九百五年ニ於ケル毎月ノ平均温度及降雨量ヲ左ニ示サン「タヒチ」島ノモノニヨル本島ノモノモ大差無キヲ信ス但シ近年ノ統計ノ徵スヘキナシ)

一、千九百五年各月中温度、雨量、及湿度表 (「タヒチ」島首府「バビツ」ニ於ケル觀測)

月次	温 度				温 度				雨 量
	午前八時	午後四時	最低平均	最高平均	最 低	最 高	午前八時	午後四時	
一月	二七・三	二九・九	二二・二	三三・三	二〇・二	三三・二	八四・三	七六・六	一五・三
二月	二七・五	二九・四	二二・三	三三・五	二〇・〇	三三・八	八四・一	七六・二	一八・五
三月	二六・〇	二九・二	二二・〇	三三・二	一九・二	三三・六	八五・七	七七・三	一九・七
四月	二五・四	二九・六	二二・八	三三・五	一九・〇	三三・二	八六・一	七七・三	〇・〇
五月	二五・五	二七・七	二二・九	三三・四	一八・〇	三三・八	八六・六	七七・九	七・〇
六月	二五・〇	二六・八	二二・四	三三・四	一八・〇	三三・四	八六・九	七七・五	一一・七
七月	二四・三	二六・二	二二・〇	三三・七	一八・〇	三三・九	八四・五	七七・〇	一一・〇
平均	二五・〇	二七・六	二二・三	三三・六	一八・〇	三三・〇	八四・四	七七・一	一〇・九

第三節 交通

本邦ヨリ「マカテア」島ニ至ルニハ先ツ「タヒチ」島ニ赴カサルヘカラス即チ目下ノ最近航路ハ順序トシテ先ツ桑港ニ向ヒ同港ヨリ同島「バビツ」港(Papeete)行ノ汽船ニ乗替ユルモノトス、桑港ヨリハ單ニ桑港「タヒチ」間ノ定期航海ヲ爲シ居ルOceanic Steamship Co. (米國籍)ノ汽船「マリボサ」號(Mariposa 總噸數三、二〇〇噸)及ヒ新西蘭ト桑港間ノ航路ニ充テ「バビツ」港ヲ立寄港セル Union Steamship Co. (英國籍)ノ汽船「アオランギ」號(Aorangi 四千二百六十八噸)及ヒ「マイタイ」號(Maitai 二千三百九十三噸)ノ三隻アリ尙追テ一隻ヲ増加スル計畫ナリト、孰レモ桑港「タヒチ」間航程十二日ヲ要シ横濱桑港間十八日トシテ併セテ三十日間トス、右各船ノ定期航海日割及ヒ乗船賃等左ノ如シ

一、「マリボサ」號 桑港ヨリ「バビツ」迄十二日間、「バビツ」ニ停泊四日間桑港ニ引返シ同港ニ停泊八日間再ヒ「バビツ」ニ向フ  
 一、「アオランギ」號及ヒ「マイタイ」號 桑港ヨリ「バビツ」迄十二日間、「バビツ」ニ停泊一日間「ラ、トシガ」ヲ經テ九日後新西蘭「ウエリントン」港ニ到  
 着此處ニテ更ニ濠洲「シドニー」行汽船ニ連絡、同船ハ同線路ヲ回航シテ「ウエリントン」着ヨリ三十四日ニ再ヒ桑港ヨリ南航スル順序トナル

乗船賃ハ左ノ如シ

等級	片路	往復
一等	100	155
二等	60	100
三等	40	60

斯クテ「タヒチ」島ニ至リテ後「マカテア」島ヘハ上記ノ如ク海上百二十哩ニ過キス而シテ目下「マカテア」島ニ於テ燐礦ノ採掘ヲ經營シ居ル大洋洲燐礦會社ノ所有船「シヨリタ」號(Ochilka)ハ同地行ノ移民ニ對シテハ無貨運送ヲ爲シ居レリ尤モ

目下ノ契約ニヨリ同會社ノ雇傭ニ係ル本邦移民ニ對シテハ本邦ヨリ往航旅費及ヒ契約期限滿了ノ移民ニ對シテハ會社ハ歸航費ヲ負擔スルモノトス

第四節 磷礦會社ノ事業

大洋洲磷礦會社ハ去ル千九百八年ノ創設ニ係リ目下ハ「マカテア」島ニ於ケル磷礦ノ採掘ヲノミ事業ノ全部トシテ經營セルカ將來此近海ノ他ノ島嶼ニ於テ磷礦發見セラレ事業開始ノ見込立ツ曉ニハ漸次ニ他島ニ及フ計畫ナリト云フ資本金ハ九百萬法ニシテ營業本部ヲ巴里ニ置キ支店ヲ「タヒチ」島ニ設ケ「マカテア」島ニハ之カ事務所ヲ置キ事業ノ進捗ニ伴レテ漸次ニ必要ノ設備ヲ整頓シツ、アリ、試ニ現在設備ノ大略ヲ説カンニ埠頭ニ近ク高サ百六十呎ノ「インクライン」ヲ設ケ磷礦積込及ヒ荷物積卸ノ爲メ全長三百米突ニ亘ル鐵道埠頭アリ内海水ニ架シタル部分二百呎ニ及フ而シテ海岸ニ據ラシタル磷礦ハ別ニ「シュート」ニ依リ之ヲ崖下ニ落シ之ヲ貯積スル「シエード」アリ六千噸乃至七千噸ヲ藏スルニ足ル別ニ二棟ノ鍛冶場アリ崖上ニハ事務所ニ近接シテ發電所及ヒ作事場アリ海岸ヨリ目下磷礦採掘場迄ハ約十町餘ノ距離ニハ輕便鐵道ヲ布設シアリ採礦ヲ運搬ス、本島ノ面積ハ約一萬二千噓ニシテ其三分ノ二ハ磷礦ヲ含有セル地積ヲ以テ構成セル見込ナリトコトニテ磷礦ハ淺キハ地下二呎深キハ十呎以下ニ層ヲ成ス、會社ノ開業ハ千九百九年二月ニシテ本島ノ土地ハ土人ノ所有ニ係ルモ最初土人ニ對シテハ各自所有ニ係ル椰子樹ヲ買收スレハ足ル即チ一株ニ付キ二十五法宛ヲ支拂ヒ之ヲ採伐シ根ヲ掘起シ斯クテ磷礦採掘ニ着手スルモノトス、目下ノ開掘場ハ本島ノ北部ニ僻在セル Mount Falliereo ト稱スル海拔約百六十呎ノ高地ニシテ面積約四十八噓ナルカ明年頃漸次他ノ箇所ニモ採掘場ヲ開ク豫定ナリト、此採掘場ハ本邦人百七十餘名ヲ使役シ其採掘高ハ毎日百噸乃至百二十噸位ナルモ漸次規模ヲ擴張スル計畫ナリト云フ目下磷礦一噸ノ賣捌相場ハ細末乾燥シタル儘ノモノ一噸三磅ナルカ之ヲ漢堡(磷礦)一大取引市場へ送り此處ニテ精製即チ Sulphuric acid ヲ以テ化製シタルモノハ五磅乃至六磅ナリト云フ、取引ハ巴里本店等ニ於テ行ハル、モ之カ運搬ハ「マカテア」島ヨリ直接ニ之ヲ爲シ運送船ハ直チニ埠頭ニ横付ケニスルコトヲ得此邊海水直下十尋ニ及フト云フ而シテ既ニ歐洲

磷礦相場

及ヒ布哇へ採礦ヲ數回ニ搬出シタル高約一萬五千噸餘ニ及ヒタルカ來年度ハ十萬噸ヲ運出スル計畫ナリト聞ケリ尙ホ差當リ會社ノ施設計畫ニ屬スルモノハ乾燥機 (Dryer) ヲ遠カラズ取付タル筈ニテ其上ハ少カラス勞力ト時間トヲ省クコトヲ得ヘケレハ是ヨリ事業ノ進捗著シカルヘシトノコトナリ、本會社ハ未タ創初ニ屬シ今日ニ於テ之カ將來ヲトスルハ早計ニ失センモ其基礎ハ鞏固ナルモノ、如クニシテ且肥料トシテノ磷礦カ有望ナル將來ヲ有スルト當島ニ於ケル其產額豐饒ナルヘキヲ豫想シ得ラル、等ノ事情ヨリ考察スレハ將來ニ於テ或ル特殊ノ事情ノ爲メニ障礙ヲ生セサル限リハ會社ノ事業トシテハ寧ロ有望ナリト稱スルヲ得ヘシ、尙ホ「タヒチ」及ヒ「マカテア」兩島ニ於ケル會社從業者ヲ類別スレハ左ノ如シ

從業者ノ員數

理事	(Director)	一名
事務長	(Chief Administrator)	一名
書記	(Clerks)	十一名
以上	「タヒチ」島	
支配人兼技師長	(Manager & chief engineer)	一名
書記	(Clerks)	十八名
醫師	(Doctor)	一名
機械工	(Mechanics, European)	三十九名
以上	「マカテア」島	
船員	(Officers)	四名
以上	「ショリタ」島	

第五節 勞働狀態

第一章 「マカテア」島本邦移民事情



本邦労働者  
員數現在  
十餘名

本邦労働者ノ送出ハ本會社ノ創業ト相伴ヒテ起リ最初ハ佛領「ニュー、カレドニア」ニ於ケル「ニツケル」採掘ニ従事セル本邦人ノ成績ト英領大洋島ニ於テ同シク燐礦採掘業ニ従事セル本邦労働者ノ事例等ニ鑑ミ本邦移民ノ使用ヲ計畫シタルモノ、如ク巴里本店ニ於テ之カ契約ヲ締結シ之ニ基キテ移民取扱人東洋移民合資會社ヨリ本省ヘ契約認可方ヲ出願シ其結果先ツ熟練労働者即チ大工及ヒ鍛冶工等二十五人ニ對シ認可ヲ與ヘ此移民ハ去ル明治四十三年三月ニ同會社代理人ト共ニ始テ同島ヘ向ケ出發シタリ尋テ普通労働者三百名即チ燐礦採掘ニ従事スヘキ労働者ニ對シ認可ヲ與ヘ四十二年八月ヲ最初トシ前後四回ニ分チ同島ヘ赴キタリ其他別ニ少數ノ熟練労働者ニ對シ認可ヲ與ヘ渡航シタル分ヲ併セ現在員三百五十餘名ニ達セリ、此内同島ニ於テ死亡セシモノ五名自己ノ都合ニ依リ歸還セシモノ數名アリトス、此等ハ契約ニ依リ往航費及歸航費ヲ會社ニ於テ負擔シ食事及家屋ヲ給シ別ニ被服料ヲ給セラル、モノニシテ労働時間ハ九時間（熟練労働者ハ十時間ナルモ實際ハ九時間ナリ）其内大多數ハ前記ノ如ク燐礦採掘ニ従事セルモノニシテ彼等ハ大抵普通ノ鼠色綿製ノ労働服ヲ纏ヒ帽子ヲ戴キ草鞋（麻製）ヲ穿テ又ハ跣足袋ノ儘ニテ労働ス、同所ニ於ケル労働ノ種類ハ

- 一、鶴嘴ヲ以テ指定セラレタル地面ニ就キ燐地積ヲ掘起スモノ
  - 二、礦塊ヲ碎キ之ヲ均シ畦ヲ作り乾燥スルモノ
  - 三、礦塊ヲ選擇シ之ヲ堆積スルモノ
  - 四、燐礦堆積場ニ運ヒ之ヲ整理スルモノ
  - 五、輕便鐵道ニ依リ車輛ニ積ミ之ヲ堆積運搬スルモノ
- 等ニシテ或ル地下深く掘下ヲ要スル方面ノ外ハ全ク平地上ノ勞作ニシテ絶エテ危險ナク又工事モ比較的容易ナルモノ、如シ、其他ハ契約面上特ニ規定セル「燐礦採掘以外ノ労働」ニ服シ此所ヨリ海岸貯藏所ニ運搬スルモノ、之ヲ「シュート」ニ墜スモノ、貯藏所ニ在リテ之カ整理ニ當ルモノ、運送船ニ積込ムモノ等種々ノ勞役ニ従事セルモノニシテ大工及鍛冶工等ハ全ク燐礦採掘ニ關係ナク家屋及作事場其他臨時ノ工事ニ従事セルモノナリ、尤モ普通労働者ハ契約面ノ定ムル所

ニ依リ時々燐礦採掘以外ノ勞作ニ従事スルコト、ナリ自然時ニ依リ異動ヲ免カレサルカ普通労働者中目下各異種ノ労働ニ従事セルモノヲ舉示スレハ左ノ如シ

- 一 燐 礦 採 掘 百七十五名
- 一 倉 庫 就 業 十一名
- 一 貯 藏 所 就 業 二十四名

右ハ目下一定ノ勞役ニ従事セルモノニシテ其他ハ前記各種ノ雜役ニ従事シ居ルモノナリ尙右等ノ外「タヒチ」「マカテア」島航通流船ニ於テ各種ノ労働ニ従事セルモノ七人其他炊事、給仕、麵麩製造、掃除等ノ諸種勞務ヲ分擔セルモノ多シ

第六節 勞 銀

勞銀ハ現在契約ハ普通労働者ニ在リテハ燐礦採掘ニ従事スルモノハ一日二法四十「サンチーム」、燐礦採掘以外ノ労働ニ對シテハ一日一法八十「サンチーム」ヲ給シ別ニ契約以外ニ二十五人毎ニ組長ヲ互撰セシメ各組員ノ監督指導ニ當ラシメ之ニハ毎月十法ヲ増給シ又特ニ勞務勉勵成績良好ノモノニ對シテハ獎勵ノ目的ヲ以テ毎月賞與金十法ヲ給與ス即チ燐礦採掘ニ従事スルモノニアリテハ毎月二十六日間勞働スルモノトシ毎月約邦貨九十六錢ノ割合ニテ約二十五圓——ニ當リ燐礦採掘以外ノ労働ニアリテハ毎日邦貨七十二錢ノ割合ニテ毎月拾八圓七十二錢ニ當ルモノトス、然ルニ目下ノ現狀ニ徴スレハ前項記述セルカ如ク多數ハ燐礦採掘ニ従事セルモノナルモ彼等ハ始終同一人カ同一業ニ従事セルニアラス其ノ勞銀收入ノ公平平均衡ヲ保タンカ爲メ相當ノ仕組ヲ設ケ輪番ニ燐礦採掘以外ノ勞務ヲ擔當スルモノナルカ故ニ隨テ彼等ノ收入ハ或ル割合即チ燐礦採掘以外ノ労働ニ従事シタル日數ニ應ジテ多少其收入ノ減殺ヲ餘義ナクサル、ヲ以テ最高收入額ヲ得ルモノニアリテモ前記燐礦採掘標準ヲ以テ計算シタル毎月收入ヲ得ルコト能ハサルノ理ナリ是等ノ事ハ契約締結ノ當初ニ於テ既ニ認容スル所ナルモ實際ニ當リテ燐礦採掘以外ノ労働ニ従事スルコト意外ニ多キハ彼等ノ豫想外トスル所ニシテ此兩様ノ給銀等差ノ現狀ハ少クトモ彼等ノ喜ハサル所ナリ此點ニ關シテ幾回カ交渉ヲ重ネタルモ會社側ニ於テ

サンチーム  
換算約三  
法八毛三  
一法ハ百  
ムナチ

モ事情ヲ辨疏スル所アリテ容易ニ解決ニ至ラサルハ一般ノ講究ヲ要スル問題ナリトス  
 熟練労働者ニアリテハ月額百二十五法乃至百五十法ナリトス即チ邦貨約五十圓乃至六十圓ニ當ル斯クテ彼等ハ食住及勞  
 働ニ要スル被服ハ自辨ヲ要セス(寢具ハ別トシテ)且ツ此等孤島ニアリテ外間ノ誘惑刺撃少キカ故ニ此等ニ關シ自然雜費  
 ラ要スルコト少キカ如シ今當島會社ノ經營ニ係ル附屬機關タル諸品販賣店ニ於ケル重ナル物價ヲ表示スルハ左ノ如シ

品名	量	格價	品名	量	格價
日米	一キロ	〇七〇	咖啡	一キロ	二四〇
麵粉	一キロ	〇三〇	米利堅粉	一	〇五〇
牛肉(罐詰)	一キロ	一四五	牛酪	一	三八〇
大豆	一〇〇	一〇〇	石油	一立突	〇五〇
大角豆	一〇〇	一〇〇	刺標草(C.P.T.印)	四〇瓦	〇三〇
キヤベツ(罐詰)	一〇〇	一〇〇	卷煙草	二〇木入	〇三〇
人参(同)	一〇〇	〇八五	葉煙草	五〇	七五〇
醬油	一〇〇	一〇〇	赤葡萄酒	一立突	一〇〇
味噌	一〇〇	一〇〇	キヤラコ(大輪)	一メートル	〇六五
砂糖	一〇〇	〇八五	靴(ツツク製)	一足	七二五乃至八五〇
日木茶	一〇〇	一五〇	革靴	一足	二〇〇乃至二〇〇
鹽(罐詰)	一キロ	二五〇	洋傘	一本	五〇乃至七〇〇
鹽(白赤)	一〇〇	一五〇	洋衫(白及霜降)	一枚	三三〇乃至七〇〇
馬鈴薯	一〇〇	〇六五	上著(白及カーキ)	一枚	六〇〇乃至八五〇
玉葱	一〇〇	〇四〇	網シヤツ	一枚	一七五乃至二五〇
大豆	一〇〇	〇四〇	莫大小シヤツ	一足	一〇〇乃至一五〇
大根(罐詰)	一〇〇	一五〇	靴	一足	一七五乃至二五〇
大根(同)	一〇〇	二〇〇	大浴巾(鯨尺長二尺五寸 一尺六寸)	一筋	一七五乃至二五〇
菜豆(同)	一〇〇	〇八五	石鹸(洗濯用)	五〇瓦	〇六〇
煉牛乳(ネツスル印)	一罐	〇八五	同	一箇	二〇〇乃至二五〇
同(モンヂア印)	一罐	〇八五	煉乳	一罐	一五〇
牛乳	一〇〇	一〇〇	楊子	一木	一〇〇乃至一五〇
豚乳	一〇〇	一〇〇	牛肉及豚肉	一キロ	二二五
杏(罐詰)	一〇〇	一七五			

次ニ此等労働者最高及最低收入並送金率ヲ表示スレハ左ノ如シ

品名	單位	最高收入額	最低收入額	最低送金額
芭蕉實	一房六十顆位	一五〇		
鳳梨	三個	一〇〇		
蜜柑	一二	〇七五		
大紙	一〇枚	〇五〇		
鉛筆	一本	〇二五		
封筒	一壺	〇五〇		
筒	二五枚	〇五〇		

收入及送金高

次ニ此等労働者ノ最初ヨリ今日迄郷里送金額ヲ示セハ左表ノ如シ

回	佛貨	最高收入額	最低收入額	最低送金額
第一回	佛貨	五千二百二十法	一八〇〇	一六三〇
第二回	同	一千五百八十法	一六三〇	一三三八
第三回	同	二千八百法	一六三〇	一三三八
第四回	同	四千〇十五法	一六三〇	一三三八
第五回	同	六千四百六十六法	一六三〇	一三三八
第六回	同	一萬一千〇九十二法	一六三〇	一三三八
第七回	同	七千三百九十三法五十參	一六三〇	一三三八
第八回	同	八千九百九十九法	一六三〇	一三三八
第九回	同	一萬二千七百法	一六三〇	一三三八
第十回	同	一萬六千三百六十法	一六三〇	一三三八
第十一回	同	一萬五千五百六十法	一六三〇	一三三八

第一章「マカアア」島本邦移民事情

第十二回 同 二萬〇三百八十三法  
佛貨 十一萬二千五百六十八法五十參也

如上ノ數字ニ據リテ之ヲ見レハ彼等カ浪費スル金高ハ比較的寡ク先ツ相應ノ剩餘アルモノト見ルヲ得ヘシ  
因ニ云フ彼等ノ貯蓄金二三箇月分ヲ取經メ代理人ノ取扱ニ依リ「タヒチ」島ニ於ケル印度支那銀行ノ手ヲ經テ直接ニ橫濱  
橫濱正金銀行へ送金シ之ヲ郷里ニ配送スルモノトス

第七節 生活狀態

本邦移民カ最初當島へ齎サレテヨリ既ニ一年有餘ヲ經過シタルカ故ニ其一般生活ノ狀態モ略ホ秩序ニ就キタリト謂フヲ  
得ヘシ前節ニモ叙ヘタルカ如ク會社ノ事業ハ未タ草創ニ屬シ移民ニ對スル取扱方モ亦之カ經濟的施設ノ進行ニ伴ヒ自然  
其事業ノ展開ト併行シテ漸次改善スルノ計畫ナルカ如ク隨テ未タ遺憾ナキヲ得サルハ自然ノ勢ナリトス然レトモ我移民  
ノ待遇方ニ關シ將タ衛生上其他ノ點ニ關シ他地方我移民就業地ノ現狀及地方の事情ニ照シ改良ノ急ヲ要スルモノアルハ  
時日ノ推移ヲ許スヘカラサルモノアリ此等ノ點ニ關シテハ會社當事者ト屢次交渉ヲ重ネ急速又ハ漸次改良方法ヲ協商シ  
之カ承諾ヲ得テ今ヤ實行ニ着手シタルモノ少カラストス今彼等ノ生活狀態ニ就キ逐次叙述スヘシ

衛生狀態  
ノ改良  
ヲ要ス

(一) 衛生狀態 當就業地ノ衛生狀態ニ關シテハ小官最初ヨリ最モ關心スル點ナレハ特ニ詳悉之カ調査ヲ爲シタリ而シ  
テ本地方一帶ノ風土の狀態ヲ取リテ之ヲ查察スレハ地ハ熱帶圈内ニ在リト謂フト雖モ貿易風ノ衝路ニ當リ炎熱ヲ緩和調  
節シ暑氣太甚シカラサルコトハ前述ノ如シ而シテ「マラリヤ」熱其他熱帶特有ノ疫病及ヒ「コレラ」、黒死病等ノ流行病  
ハ未タ曾テ之カ襲來ヲ見ス其他ノ土地の病氣ニ關シテハ次篇「タヒチ」島ノ條章ニ於テ記述スル所ト大差無キヲ想ハシム  
約言スレハ當島ハ不健康地ヲ以テ目スヘカラサルカ如シ然ルニ小官ノ實査セル現狀ヲ以テ之ヲ言ヘハ目下本邦人全體ノ  
衛生的現狀ハ之ヲ以テ満足ナル狀態ニアルモノトシテ許スヘカラス即チ彼等三十餘名中身體内外部多少ノ故障ヲ生シ會  
社附屬ノ佛國醫ノ診ヲ請フモノ日ニ三十名乃至四十名ニ及フ尤モ之ヲ各人ニ就キ仔細ニ考究スルトキハ幾ント醫療ヲ要

本邦醫  
ヲ  
招聘  
スル  
コト  
ハ  
ナ  
レ  
リ

セサルモノト診定セラル、モノ又ハ外部ノ瑣細ナル負傷等モ少カラサルモ兎ニ角其病患者ノ率ハ決シテ其多キニ居ルモ  
ノニアラスト謂フヘカラス而シテ此等患者ノ大半ハ大抵同一若シクハ大同小異ナル症狀ヲ呈セルノ實情ヲ發見セリ即チ  
胃部ノ疼痛、消化不良、下脚部ノ疼痛又ハ痲痺是ニテ醫師ハ之ヲ以テ本邦人特有若クハ特ニ本邦人ニ限り多ク特發スル  
症狀トナシ之ヲ脚氣病ノ一種ニ歸着セルモノ、如シ、而シテ是迄本邦人中死亡シタルモノハ五名ニシテ此病氣ノ爲メ  
重症トナルモノハ少キカ如キモ此病患ノ現在狀態ハ決シテ苟且ニ付スヘカラス斷シテ之カ全快及ヒ未發防止ノ策ヲ講セ  
サルニ於テハ當島ニ渡航スヘキ本邦移民ノ將來ハ光輝アルモノト謂フヘカラス此點ニ關シテハ會社ニ於テモ種々攻究中ニ  
テ契約ノ規定上此等ノ患者ニハ米食ニ代フルニ麵包ヲ以テシ且ツ遠カラス麥ヲ以テ一部米ニ代ヘ試給スル筈ナルカ其他  
彼等カ不安ノ念慮ニ驅ラレ居ルハ佛國醫師ニ對シ我カ移民會社代理人ノ通譯ハ意思疎通ニ不便無キニモ拘ラス自然彼等  
ノ習慣上全幅ノ信念ヲ置カサルヨリ其與フル藥劑ノ外ニ竊カニ攜帶セル本邦賣藥類ノモノヲ服用スルカ如キ陋習行ハル  
、ヲ見ル且ツ特ニ心的狀態ノ人體病患ニ多大ノ關係アルノ忽諾ニ付スヘカラサルト本邦人特殊ノ事情ニ通スル者ノ大ニ  
利便アルヘキヲ想ヒ是迄移民全體ノ希望アリタルモ佛國法規ノ阻止スル處トナリテ實行サレサリシ本邦醫師ヲ當島ニ齎  
シ專ラ本邦移民ノ診療ニ當ラシムルコトノ交渉ヲ重ネ或ル名義ノ下ニ佛國醫師ノ助手トシテ之ヲ雇用スルノ途ヲ求メ遂  
ニ之カ承諾ヲ得タレハ遠カラス之カ實行ヲ見ルニ至ルヘシ、其他ハ沐浴場ヲ新設セシムルコト、シ尙ホ後章叙述スル給  
水及家屋改良等ノ點ト相俟チ右食糧ノ點ト併行セハ本邦移民ノ衛生狀態ハ改良セラルヘキヲ信シ遠カラス之ヲ事實ノ上  
ニ見ンコトヲ期待スルナリ、尙ホ小官滯在中交渉ノ未計畫中ノ施設ニシテ逐次實行ヲ約シ衛生的改良ニ資スヘキモノ左  
ノ如シ

一、病院ノ新設 目下前記佛國醫師ノ外士人助手一人ニシテ普通ニ家屋ヲ以テ之カ診療ニ充テ居ルモ數月後ニ之ヲ新  
設シ患者三十餘名ヲ收容シ得ル筈 (四ニ謂フ目下本邦人中黃熱病肺炎扶助等ニ罹レルモノ無シ)

一、食堂新設 數月後竣成ノ筈

家屋

(二) 家屋 本邦人ハ皆島ノ中部即チ事務所ト採掘場ノ中間ノ平地ニ建設セラレタル八棟ノ家屋ニ割住セルカ此中熟練労働者ハ二棟ニ別居シ家屋ハ孰レモ長サ十五間位幅五間高サ七八間ノ平屋建ニシテ空氣ノ流通良好ナリ尤モ熱練労働者アリテハ之ヲ區劃シテ前後兩側ニ分チ更ニ之ヲ數室ニ仕切り一室ニ三人ヲ住セシム此室ハ壁ニ沿フテ高ク床ヲ設ケ寢所ニ充ツ而シテ普通労働者ニアリテハ此等區劃ナク幅一間長サ之ニ副フ床凡ヲ羅列シ更ニ此上ニ同様ノ床凡ヲ置キ上下二層ト爲シ移民ハ各之ヲ休息ト就眠トニ充ツ此等裝置ハ布哇ニ於ケル初期移民ニ與ヘラレタルモノニシテ今マ其迹ヲ絶テリ斯クテ一棟片側二十四人宛四十八人ヲ充ツ而シテ蚊ハ始終絶ニサルヲ以テ其携來ノ蚊帳ヲ垂レリ、此普通労働者ノ家屋設備ハ目下他ノ移民地ニモ其例アル由ナルカ坐臥ノ不自由ト窮屈ト衛生ノ點ニ於テ良シカラサルヘキニ依リ上下層ヲ撤シテ平床一段トナサシムルコトノ可ナルヲ説キ之カ實行ヲ促シタルモ斯クセンニハ目下ノ家屋ヲ増設シテ普通労働者ニ對スルモノヲ二倍シ十二棟ト爲サ、ルヘカラサル事情ヨリ速ニ之カ實行困難ナルヲ辨疏シタルニ依リ或ル時期ニ於テ改良實行ヲ要求シ置ケリ

食料

(三) 食料 目下契約ノ規定ニ依リ我移民ニ給與セラレ居ル食料ハ大略左ノ如シ  
日本米、麵包、乾魚又ハ鹽魚、生魚、牛肉其他、味噌、醬油、野菜、漬物、砂糖、茶、鹽及水

但シ野菜ハ絶エテ當島ニ産セス「タヒチ」島ニ於テ専ラ支那人ノ耕作ニ係リ其價不廉且ツ少量ニシテ十分ノ供給ヲ得ヌ尤モ漸次其額ヲ増スヘキヲ約セリ生魚モ亦比較的少量ナリ食料ノ調理ハ本邦移民中専ラ擔當セルモノ各棟ニ數名アリ

給水

(四) 給水 當島中絶エテ湧水無ク専ラ雨水ニ依レルハ前章叙述スル所ノ如シ目下小形ノ水槽數個「セメント」ヲ以テ造リタル大形貯槽一基アリ目下ハ尙ホ給水ニ十分ナラサルノ憾アルカ他ニ大形水槽四基ヲ増設シテ五基ト爲スノ計畫ニシテ工事進行中ナルカ竣成ノ上ハ給水上不便無キヲ得ンカ、天水ハ衛生上無害ナル由ナルモ之カ清潔保存上ニ關シテ注意ヲ與ヘ置ケリ

風俗

(五) 風俗 現在本邦移民ハ少數ヲ除クノ外ハ概ネ福島縣ニ於テ募集セラレタルモノニ係リ二十歳以上老タルハ四十二

娛樂機關

三歳、教育程度ハ普通ニテ其應能、遵法、清潔等ノ點ヨリ見ルモ労働者トシテ普通以上ノ部類ニ屬スルモノ、如ク一般ノ氣受ケ良好ナリ且ツ其郷里ヲ同シクセルノ一事ハ其和借親睦ノ點ニ於テ好結果ヲ示シ居レルハ欣フヘシ  
(六) 娛樂機關 當島ノ如キ一孤島ニ在リ且ツ「タヒチ」島ヘモ幾ント赴クノ機會少ケレハ彼等ノ他ニ求ムル娛樂機關トシテハ絶無ト稱シテ可ナリ、但シ是レカ爲メ一方ニ於テハ費用ヲ節約シ得ラル、ヲ疑フヘカラス、唯タ天長節等ノ祭日ニ際シ種々ノ遊戯ヲ爲シ歡樂ノ途ヲ求ムル位ニテ其他ハ彼等自身互ノ間ニ於テ種々ノ角力興樂ヲ爲スニ止マル

第八節 將來

將來

當島ニ於ケル本邦移民ノ技能及ヒ成績ハ略ホ既ニ其實ヲ示シタリ從テ雇用者タル會社側ハ彼等ノ實績ヲ以テ極メテ満足セルモノ、如シ而シテ事業ノ進捗ニ伴ヒ其規模ヲ擴張シ更ニ幾多ノ労働者増加ノ必要アルハ明言スル所ナルモ未タ其時機ト員數トハ語ル能ハサル所ナリトス、而シテ本邦移民ノ側ニアリテハ契約期限ノ滿了ハ一年餘ノ後ニ在リ歸國者ノ補充及増減ハ近キ將來ノ問題ナルカ上記衛生的狀態ノ改良セラレサルヘカラサルヲ條件トシ其他須要ナル幾多ノ改良ヲ加ヘナハ本島ニ於ケル本邦移民ハ尙ホ將來ニ向テ餘地開カル、モノト謂フヲ得ヘシ

第二章 「タヒチ」島事情

第一節 地理的地勢

「タヒチ」島ハ前章記述セルカ如ク南太平洋「ソサイチー」群島中ノ一ニシテ其廣袤群島ニ冠タリ地形飄ノ如ク中央部狹キ地峽ヲ以テ連絡セラル長サ三十五哩平均十二哩周圍百二十哩弱ト稱セラル海邊ニ環通セル道路ノ延長約九十哩ナリ島内幾ント山嶽重疊之レカ山麓ノ海岸ニ迫ル所及谿谷ニ平坦ナル地面ノ出入セルノミ島ハ噴火山系ニ屬スルモノ、如ク山ハ悉皆熱帶樹林蔭鬱四時不斷ノ綠色ヲ擎ケ斧斤永ク入ラサルカ故ニ能ク水源ヲ涵養シ無數ノ河水四方ニ流注シテ原野ヲ豊沃ナラシム島ノ周圍幾ント珊瑚環ヲ以テ裹ミ自然ノ防波堤ヲ作り其間靜平ナル「ラグーン」ヲ擁シ所々ニ安全ナル船舶ノ

地味豊沃  
風光明媚

碇繋場ヲ構成ス風光頗ル明媚風ニ南洋ノ樂園ヲ以テ稱セラル温度ハ貿易風及茂山降雨ノ爲メ炎暑ヲ調節シ季候比較的温涼ニシテ最高九十度ヲ昇ラス(第一章中所掲温度表参照)最低三四月ノ交ニ於テ六十五度内外ナリ季節ハ赤道以南ニ位スル故、本邦トハ反對ニシテ我夏期ハ同地ノ冬ニ當ル雨季ハ大抵毎年十二月ニ始マリ一二箇月ニ亘ル山ニアリテハ「オロヘウラ」(Oruhura)及「アオリイ」(Aorii)最モ高ク七千呎乃至八千呎ノ間ニ在リ島ノ西岸ニ「バビーツ」港アリ岸下直ニ巨船ヲ繋クヘク良港ナリトス近海大小百餘ニ近キ佛領諸島ヲ統轄セル政廳ノ所在地ニシテ其他商舖、銀行、病院、旅館、市場等咸ナ此地ニアリ人口ハ同港ニ於テ約八千此中外國人三千許アリ支那人最モ多ク二千ヲ下ラス他ハ佛人最モ多ク獨米人及少數ノ英國人アリ土人數ハ同港ニ約五千全島ヲ通シ一萬弱、尙島邊所在ニ店舗ヲ構ヘ居ル支那人二千餘ヲ算シ全人口約一萬五千ナリ島ヲ距ル八哩ニ「モリア」(Morria)島アリ二十五哩、山勢奇巒左突右兀蓋シ神仙書中ノモノ、如シ土民數千アリ汽船ハ毎週一回相往來ス

「バビーツ」港

人口約一萬五千

### 第二節 沿革

「タヒチ」島一帯ニ住スル土民ノ濫觴ハ筆札記録ノ徵スヘキナク専ラ口碑ニノミ依ルカ故ニ其確實ナルヲ保スヘカラサルモ其言語相貌及風俗等ヲ以テ之レヲ推スニ「ポリネシア」人種ノ系統ニ屬シ彼等ハ西ヨリ東ヘ又ハ北ヨリ南ヘ瓜哇「サモア」及布哇ヨリ移住シタルモノニシテ布哇ノ王「オロバナ」(Olopana)カ十二世紀ノ洪水ヲ避ケ其女王ヲ携ヘ此島ヘ來リタルモノナリトノ傳説アリ白人種カ最初此島ヲ發見セシハ千七百六十七年ニシテ「キャプテン、サミュエル、ウワリス」(Captain Samuel Wallis)カ女王ヲ持船「ドルフィン」(Dolphin)ニテ世界周遊ノ途同年六月十八日會々之ヲ發見シ之レニ Okohoke ノ名稱ヲ付シタリ次テ彼ノ「キャプテン、タック」(Captain Cook)カ遠洋周航ノ途千七百六十九年四月十三日本島ニ來リ「マタグアイ」灣 (Matavai Bay) ニ入りタリ斯クテ其後屢、外國船ノ寄島アリ漸次土民ヲ懷柔シ物貨ノ交易ヲ行ヒ教旨ヲ弘布シ島王配治ノ上ニ英ノ保護權ヲ設定シ同國ノ霸權行ハレ來レルカ千八百三十六年ニ至リ佛國加督教ノ僧渡來ノコトアリ開教ノ基ヲ立テ茲ニ教派歸屬ノ關係ヨリ英ノ開教者トノ争鬭絶ニス然ルニ當時英國ノ領事「ブ

最初英人ニ發見セラル

英佛兩國布教ノ争佛國ノ保護權ヲ行ハレ土ニ歸ス

力メテ土地ノ舊慣ヲ存ス

「チャード」ハ女王ニ奏請シテ一旦加督僧ヲ此島ヨリ放逐ヲ敢テシタルモ佛王「ルイ、ヒリッブ」使者ヲ英女王ニ使シ之ヲ説テ加督教師再遣ヲ諾セシメ其後軍艦ヲ遣シタルコトアリシカ當時英國ハ遠境ニ於ケル布教ニ重キヲ措カス「サー、ロバート、ピール」モ亦タ絶海島嶼ノ征略ニ多クノ價值ヲ認メサリシカ爲メ寧ロ放任ノ政策ヲ執リ形勢ヲ轉移ヲ來シ女王ハ竟ニ佛國ノ保護版圖トシテノ文書ニ記名セントセシ比、英艦來島等ノコトアリ在昔年ヲ經シモ次テ佛艦來航シテ島ノ各酋長ニ書ヲ送リ其應諾ヲ得千八百四十二年九月三十日ニ至リ始テ佛ノ「保護領」トシテ佛國旗ヲ掲ケタリ然ルニ翌年英領事任ニ歸リ再ヒ葛藤ヲ生シ其結果佛ノ提督ヲ捉ヘテ島外ニ放逐シタリ茲ニ於テ英佛兩朝間ニ物議ヲ生セシモ結局同島英教師ノ請求ニヨリ歐洲各政府ノ協商ニ上リ尋テ同島ニ宗教ノ自由ヲ與フルコト、ナリ一旦交綏ノ狀ヲ呈シタリ、同島ノ王「ポマレ」(Pomare)ト稱シ元ト「パンモツ」群島 (Pamotu Archipelago) ノ珊瑚島ノ一ニ占據シタル酋長ノ苗屬ニシテ本島ヘ渡來ノ時ハ寧ロ蠻族ノ下ニシテ輕侮セラル、ノ狀アリシモ酋長ノ弟トナリテ入族シ酋長ノ死ニ會シ其相續者トシテ前記「キャプテン、タック」ニヨリ統治政略上ノ便宜ニヨリ王トシテ推サレタルモノニシテ最後ノ王ハ「ボマレ」五世ニシテ佛國カ保護領ヲ廢シテ全然其版圖ニ併スノ文書ニ調印シタルモ此王ナリ事一千八百八十一年ニシテ爾來完全ナル佛領ニ歸セリ、王ハ佛國ヨリ年金六萬法ヲ受領セシカ千八百九十一年ニ死シ二女ヲ遺ス二女實ニ王ノ胤ニアラス王之レヲ識ル調印ヲ敢行セシモ實ハ之ニ因ルトノ風説アリ爾來佛國ノ政廳ヲ「バビーツ」ニ置キ舊王族ニ若干ノ年金ヲ給シ力メテ土地ノ舊慣ヲ存シテ多ク干涉セス佛法固ヨリ行ハル、モ地方ノ法規並ヒ行ハル、ヲ許スト云フ

### 第二節 佛國統治現狀

第一 行政區劃 所謂「ソサキチ」群島 (Society group) ハ咸ナ佛領ニ屬シ在「タヒチ」知事ノ管内ニアリ其主ナル島名ヲ舉クレバ左ノ如シ

- 一 Gambier
- 二 Marquis
- 三 Les Sous le Vent
- 四 Taïhiti
- 五 Ha Tahuai
- 六 Tahiti

第二章 「タヒチ」島事情

七 Moore

他島ニ知事配下ニ立ツ Agent Speciale アリ其數現在三名アリ又「バビーツ」ニハ選舉ニヨル市長アリ

租稅

第二 租稅

(イ) 直接稅

甲、人頭稅、一年一人ニ付十二法ヲ徵シ十六オコリ六十オニ至ル、管内在住ノ土人及一般外國人ニ課ス  
乙、道路稅「タヒチ」ニ限リ人頭稅ノ標準ニ依ル

(ロ) 間接稅

甲、關稅 此一帶稅額ニ限リ設ケラレタル定率ニヨル  
乙、入市稅 品種ニヨリ異ル  
若シ土人等ニシテ納稅ノ義務ヲ果ス能ハサルトキハ財產ノ全部又幾何ヲ沒收シテ之ニ代フ

(ハ) 輸出稅

主ナル輸出品ニ課ス其主ナルモノ左ノ如シ  
甲、糖 一噸ニ付七十五サンチム  
乙、「コブラ」價格ノ百分ノ六  
丙、眞珠貝 一噸ニ付四百法

支出

(ニ) 支出

領地ノ經營ハ獨立經濟ニヨリ目下約二十萬法ヲ要ス而シテ收入ハ四十萬法ヲ出入スト云フ尙ホ戶口調査ハ毎年之レヲ行フト云フ

司法及警察

第三 司法及警察 地方裁判所及仲裁裁判所アリ前者ハ一般民刑ノ事件ヲ審判シ他ハ其以外ノ訟訴ヲ聽斷ス前者ハ裁判長一人檢事二人ヲ置キ外ニ陪審四人アリ孰レモ佛國人ヲ以テ之ヲ任托ス、後者ハ地方裁判所ノ判事ニ蒞ミ出張シテ之レニ當ル控訴事件ハ佛國ノ高等法衙ニ移ス、民刑ノ法律及訴訟法ハ土地ニ特別ノモノアレトモ大部分ハ佛國固有法ニ依ル

軍事

第四 軍事

往時佛國ハ衛戍陸兵ヲ有シ其數百五十人アリシモ千九百四年ニ至リ之レヲ廢シ今ハ軍艦一隻「ジェリー」

(Nelle) 碇泊シテ近海各島ヲ遊弋ス士官十名水兵五十六人ニシテ知事之レカ指揮ノ權ヲ有ス

外國官憲

第五 外國官憲 外國ニシテ此島ニ領事若シクハ其代理ヲ置ケルモノハ英、米、獨、瑞典及那威ナリトス

教育

第六 教育 教育ハ強制的ニシテ幼稚園ヨリ小學程度ニ止マリ四才以上十六歲迄トス、公立學校郡郡ヲ通シテ二十四アリ教師ハ「バビーツ」港ニ於テハ佛國人ナレトモ邊地ハ此處ニ於テ教育セラレタル土人ヲ用フ、生徒ハ白人土人相混シ各地通シテ九百人アリ、授業料ヲ徵セス

輸出及輸入

第七 輸出及輸入 本島輸入セラレ又ハ本島ヨリ輸出セラレタル重ナル物貨ノ最近價格ハ左表ノ如シ

輸入之部 (千九百十年)			輸出之部 (千九百十年)		
品目	價格	品目	量	價格	價格
織物類	一、六〇八四	コブ	八〇、四八五七	三、一〇四、二二〇	
肉罐詰類	三、三三七八	クニ	二、五七、七九	一、四〇九、九四八	
諸機械類	一、七三、九五六	眞珠	六、二一、五〇	九、二五〇、二九	
鮭罐詰	二、六、五七一	棉	七、二、七六	九、七、五九九	
牛酪	一、三、六四五	花	八、七、二、四七個	六、六、八五四	
木細工類	二、八、四九〇	蜜	四、二、四、五〇個	五、七、三三一	
靴類	一、八、九六四	柑			
白米(日本移民専用)	一〇、七、九四八				
「ビスケット」類	一〇、六、六〇八				

郵便、電信、電話、水道、衛生等

第八 郵便及電信、電話、電燈、下水、道路、衛生等 郵便ハ政府事業ナルコト固ヨリナルカ電信ハ目下未タ設備ナク此點頗ル便利ヲ缺ケリ尤モ太平洋電氣會社カ試驗的ニ無線電信ノ機關ヲ設ケ之ヲ試ミタルコトアルモ公衆ノ用ニ開カ、ニ至ラス電話及電燈ハ同會社ノ經營ニ係リ既ニ公通セリ、下水設備ハ完備シ道路ハ政府ノ事業トシテ全島ノ幾ント半部ハ道路平坦ニシテ自働車ヲ行ルニ適ス、病院ハ政府附屬ノモノアリ從前ハ陸軍附屬ノモノナリシカ今ハ普通ノモノトナリ佛國醫師三名アリ等級ヲ分チ費用ヲ徵シテ一般及外國人士人患者ヲモ收容ス此地外ノ村落ニ佛醫一名アリ

類病ノ種

リ、目下患者三十名餘ナルモ六七十人ヲ容ル、ニ足ル土人ハ始メハ此所ニ來診ヲ求ムルヲ避ケ「カフナ」(Kaluina)ト稱スル土人醫ニ頼ルノ風アレトモ漸次求治スルモノ多キヲ加フト云フ、病氣ノ種類ハ「マラリア」性ノ熱病ハ少ク「Tetanus」(強直症)ハ屢、之レヲ見ル其他「Varicosa Vain, Variocelle & Hydrocele」(腎囊水腫)普通ニシテ癩病「Leplasy」ハ布哇ノ如ク多カラサルモ「モリーリア」(Moorea)島ニ比較的多シ其他「Elephantiasis」ト稱シ手足ノ非常ニ膨大ナル病氣十人間ニ多シ

宗教

第九 宗教 宗教ノ自由ヲ認メ加督教及「プロテスタント」教並ヒ行ハル外國及土人宣教師咸ナ土語ヲ用ヒ教育ヲ弘布ス

第四節 産業及勞働狀態

産業未タ多ク發達セズ

當島一帶ハ地味氣候ノ豐饒順和ナル割合ニ土地ノ産業トシテハ未タ幼稚ノ域ヲ脱セサルモノ、如シ是カ爲メニ前章叙述シタル近年創始シタル「マカテヤ」島ノ磷礦採掘業ノ如キハ佛國政府ハ多大ノ注意ヲ以テ之レカ發達ヲ囑望シツ、アルモノ、如シ蓋シ土地邊陲ニシテ交通ノ便未タ普カラサルト佛國政府カ寧ロ放任政策ヲ執レルト土人カ未タ多ク外間ノ企業ノ刺撃ニ依リテ奮起スルニ至ラサルト企業家ハ勞力ノ缺乏ヲ感スル等ハ之レカ原因ヲナスモノニシテ此等狀態變轉スルノ事情起ラハ天然ノ地味ト氣候トハ著シク人力ヲ節シ平野多カラスト雖モ尙ホ産業興隆ノ餘地恢々タリト謂フヘシ、現下土地產物ノ主ナルモノヲ舉クレハ第一「コブラ」(Copia) 第二「ヅアニラ」(Vanilla) 第三眞珠及同貝、第四砂糖ニシテ其他珈琲、棉、護謨、鳳梨等アレトモ試験的栽培ノ程度タルニ過キス、而シテ上記諸物產中第一ヨリ第三迄ハ輸出品トシテ島外ニ出ルモ砂糖ハ未タ全ク島民ノ需要ヲ充スニ足ラス今マ項ヲ逐フテ其梗概ヲ記述スヘシ

主產物

第一「コブラ」 「コブラ」ハ椰子實ノ核内ノ汁液ヲ裏メル純白粘質物ヲ乾固シタルモノニテ實ヲ割キ外廓ト併セ之ヲ輸出ス Palmiona Oil ト稱シ歐洲地方ニ於テ豚脂ニ代ル調理用品トシテ盛ニ需要アリ油ヲ搾リタル糟ハ Oil cake トシテ用フ椰子ハ野生ノモノ、外ハ果實ヲ土中ニ種ユレハ間モナク發芽生長シ早キハ七年ニシテ結實ス而シテ年中開花結實ス新陳代謝スルカ故ニ一年中約一枝ニツキ五十顆ヲ產ス一噓ニツキ六十五株ヲ栽ユルヲ普通トス、目下相場(本地取

引賣價)一噸百七弗位ナリ之カ取引ハ各地土人カ其所有ニ屬スル椰子樹ノ果實ヲ採摘シ居ルヲ當地方ニ店舖ヲ構ヘ居レル支那人カ土民必需ノ麵麩其他ヲ傳リ物々交換ニ之ヲ得更ニ輸出商ニ賣渡スカ輸出商カ直接之レヲ買取ルカ又ハ佛人其他之カ栽植及輸出ヲ併セ營メルモノ、手ニヨリ要引セラル、カニアリ山涯餘間綠葉鬱茂最モ當地方ノ地味ニ適セルモノ、如キモ勢力ノ缺乏ニ依リ野生ノ外大仕掛ケニ栽培セラル、ニ至ラス輸出者ニハ佛商ノ外獨逸商アリ

第二「ヅアニラ」 「ヅアニラ」ハ林間ニ發生セル蔓草ニ生スル莢豆ニシテ野生ノモノ、外土人カ林間ニ適度ノ間隔ヲ保チ栽培シ他ノ支樹ニ附攀セシム枝間十數莢密生シ莢間數豆ヲ蓄フ之レカ熟スルヲ俟チテ乾固シ外莢黑色ニ變スルニ至リ之ヲ輸出ス用途ハ菓子、香水及染料其他歐米地方ニ於テ需頗ル多シ、開花ハ七八九月ノ間ニシテ翌年三月結莢ス「コブラ」ニ亞ク重要輸出品ナルカ往年支那人カ其未タ充分熟セサルニ乘シ之レヲ土民ヨリ強買シ利益ヲ壟斷シタルカ爲メ一時本産業ノ衰頹ヲ來セシヨリ今ハ政廳ノ命令ニヨリ未熟ノモノヲ摘取スルヲ禁止シ再ヒ回復ノ氣運ニ向ヘリ之レニ人手ヲ要スルハ開花ノ後雄雌兩蕊ノ媒交ヲ人工ニ依リ行ハシムルニアラサレハ結莢間多ク其功ヲ奏セサルニアリ支那人ハ概ネ一基五十三「サンチーム」ニテ土人ヨリ買ヒ集メ之ヲ一法ニシテ輸出商ニ賣ル輸出 (Ready for Shipping) ノ時候ハ一基十四法ナリ此處ヨリ大抵一旦桑港ヘ出シ夫レヨリ主ニ獨逸商ノ手ニヨリ歐洲ニ出シ佛國及埃國カ其主ナル市場ナリトス昨年ノ輸出高二百五十六噸ナリキ

第三 眞珠及眞珠貝 眞珠及眞珠貝ハ主トシテ當群島中「クアモツ」島地方ノ產出ニ係ル往年一握ノ眞珠貝ヲ土民ヨリ布帛燐寸ノ類ヲ以テ代ヘタル等ノ奇譚アルモ今ハ土人モ亦之レカ眞價ヲ識リ斯ル愚ヲナス大抵佛國商自ラ各島ヲ巡規シテ之ヲ相當ノ時價ニ買取リ歐米市場ニ出ス、眞珠貝モ亦如其他「ナイフ」其他裝填用トシテ盛ニ輸出セラル之レカ取引ニハ佛人ノ外英獨商アリ一年ノ輸出高五百五十噸乃至六百噸買價一噸三百弗内外ナリ

第四 砂糖 當島ニ於ケル甘蔗耕地ハ「タヒチ」島内ニ二箇所アリ一ハ「バビーツ」港ニ近キ「フアローピーヒチ」(Paaripiti) 他ハ二十四哩ヲ距ツル「アチマオノ」(Atimono)ノ兩地ニシテ其ニ海岸ニ近シ之カ經營者ハ佛人 Morrison Brander 及ヒ

甘蔗耕作ノ現狀

Portx (半ハ英人ノ血統ヲ有ス)ナリ今マ參考ノ爲メ左ニ之カ經營ノ現狀ヲ略述スヘシ

(一)「フアーリービチ」五十年前ノ創設ニシテ目下使用地積二百噓ニシテ尙ホ他ニ二百噓ノ餘地ヲ有ス普通製出砂糖三百乃至三百五十噸最盛時ハ四百噸ナリ、製造所ノ製糖能力ハ一日五噸使用人員ハ百二十人乃至百三十人ニシテ此中十五人製造所内ヘ就勞ス常時使用人員六十人ニシテ内三十四人ハ支那人ナリ、一日四法ノ賃銀ニシテ外ニ家屋ヲ供シ勞働時間一日九時間ナリ、蔗種ハ「ラハイナ」種ノ一系ナリトス栽培以來十二箇月ニシテ能ク採糖ニ適ス布哇ニ於ケル十八箇月ニ比シ短キコト六箇月以テ氣候ノ差推知スヘキナリ

(二)「アチマオノ」、目下植付面積百五十噓ニシテ別ニ四百五十噓ヲ有ス、製造所ハ三「ローラー」ノ二組及五「ローラー」組トテ供フ灌溉ノ便ヲ有シ附近百三十呎ノ高サノ山ヨリ瀑水ヲ用ヒ水車ヲ設ケ五十馬力ト稱ス八年前ノ創立ニ係リ初メ「デユコーン」(Drown)ナルモノノ經營セシカ三年後米國人「ドーター」(Dor)ニ譲リ尙ホ三年ノ後現事業主「ラウ」カ引受ケタルモノニシテ一日十噸ヲ製出スルニ堪フ、最近ノ製造年額二百五十噸ト稱ス此粗製糖ノ賣價一基七十五「サンチム」ナリ、目下「タヒチ」島一帶砂糖需要額約一年六百噸ナレハ右耕地ノ製出高ヲ併スモ未タ全ク之レヲ充タスニ足ラス又本地ニ在リテハ精製糖ヲ製出スルコトヲ許サスト云フ本耕地ニテハ常時支那人三十人ヲ用ヒ繁忙ノ時ハ此外百人ヲ使用ス孰レモ事業擴張ノ餘地アルモ勞力缺乏ノ爲メ之ヲ實行スル能ハスト云フ此地一帶元ト棉耕地ニシテ數十年前米國人カ大仕掛ケニテ之レヲ經營シ一時支那人數千餘名ヲ使役シ頗ル有利ノ事業ナリシカ會々米國南米戰爭ニ際シ其後五年南部地方ニ於テ再ヒ棉耕耕作ヲ始メタルカ爲メ此地棉價ニ打撃ヲ與ヘ而シテ此事業ノ株主等カ巴爾幹地方ノ石油ニ資本ヲ注入シタルニヨリ全ク事業ノ失敗ヲ招キタリト云フ爾來棉作、珈琲、護謨等ノ栽培事業振ハサルモ適當ノ勞力ト資本トヲ齎サハ其有利ナルハ疑ヒナキモノ、如シ

土人向ノ  
商種ハ支  
那人ノ手  
ニ落ツ

一、商業 一般ノ貿易即チ本地需要品ヲ供給シ前記「ゴブラ」「ゾアニア」眞珠等ヲ輸出スル商業ハ四五ノ佛、獨、英、米等ノ商人ノ手ニアルモ主トシテ土人向キノ物資供給ハ全ク支那人ノ掌中ニアリト云フモ諷言ニアラス即チ「バビ

一ツ」港ハ勿論「タヒチ」ノ邊陲部落其他此邊ニ散布セル諸島ニ至ルマテ三四土人ノ住家アル處必ス支那人ノ店舗アリテ布帛家具其他雜貨ヲ供給ス彼等ハ麵粉等ヲ土民ニ供シ代フルニ「ゴブラ」「ゾアニア」等ヲ受取り之ヲ高價ニ售リ財ヲ積ムナリ斯クテ彼等ハ毎年千ヲ以テ「ニュージランド」及米國「カリフォルニア」州邊ヨリ此地方ニ來集シ其勢實ニ驚クヘキモノアリ斯クノ如クニシテ此地方ニ於ケル商權ハ遠カラス清國人ニ歸セントハ歐米人ノ恐ル、所ナリ尤モ土人等ハ彼等ノ老翁手段ヲ漸次熟知スルニ從ヒ氣受ケハ良好ト謂フヘカラス

勞力ノ缺  
乏

一、勞働狀態 前記ノ如ク一般ヲ通シ産業ノ發達振興ヲ阻碍スル所ノモノハ主トシテ勞力ノ缺乏ニシテ現ニ發着汽船ノ荷卸ニモ人夫ノ缺乏ヲ感セル位ニテ事業家カ之レヲ訴フルノミナラス佛國政府モ亦之ヲ認メ居リ既ニ瓜哇ヨリ同地土人一千名ノ輸入ノ計畫ヲ立テ船賃ヲ給シ家屋及食料ヲ與ヘ別ニ毎月一名六十法乃至六十五法ヲ支拂フ標準ニシテ之ヲ本地ニ齎スコトニツキ目下商量中ナリト謂フ尙ホ本地ノ野菜耕作ハ主ニ支那人ノ勞作ニ係リ又牛馬豚等ノ家畜類ハ處々歐米人ノ飼畜セルモノアルモ土地ノ需要ヲ充タニ足ラス漁業ハ不完全ナカラ土人ノ經營ニ屬ス

### 第五節 風俗

風俗

本島ハ歐洲遠航者ノ始テ其門戸ヲ敲キテヨリ既ニ多クノ歲月ヲ經タリト雖モ地ノ赤道以南ニ僻在セルト今日ニ至ル迄未タ經濟的及軍事的著眼ノ標的以外ニ置カレタルカ故ニ其名未タ汎ク世ニ知ラレス唯タ纔ニ濠洲及西、米人カ其風景、習俗ノ雄麗閑古ナルト季候ノ温暖ナルトヲ傳唱シ好奇心ヲ以テ避寒ノ地トシテ之レヲ訪フカ爲メ稍、其名ヲ傳フルニ過キス從テ時々汽笛ニ驚カサル「バビ」港ヲ除クノ外島ノ裏面及近在ノ島嶼ニ至テハ未タ多ク文明ノ風化ヲ享ケス其在來ノ習慣ヲ維持シ原始的生活ヲ繼續スルカ故ニ余輩ノ如ク始メテ此地方ヲ踏ミタルモノニ取リテハ頗ル奇異好尙ノ感ヲ深フセスンハアラス試ミニ一端ヲ説キテ未識ノ世人ニ傳フルモ亦徒爾ナラサルヘシ

人種ハ先ニ説ケルカ如ク「ポリネシアン」系統ニ屬シ其皮膚銅色又ハ「コ、ア」色ニシテ軀幹雄偉膂力強シ面貌ハ稍布哇土人ニ肖タルモ比較的温和齊整婦女ノ如キハ南洋土民中ノ尤ナルモノト稱セラル全ク食人種ノ系統ヲ脱シ柔順、親



切可嚙ヲ以テ其特色トス尤モ遊惰自奮ノ氣ニ乏シキハ免レ難キ所トス  
 衣服ハ「バビーツ」港及之ニ近キ土地ニアリテハ女ハ固ヨリ男モ亦洋服又ハ之ニ類似セル被服ヲ纏ヘルモ島ノ裏面ニ至レ  
 ハ尙ホ裸跣ニシテ「ロイン、クロース」(Loim clothes)ト稱シ赤地大模様ノ布片ヲ以テ腰部ヲ捲クヲ見ル尤モ婦女ハ領内  
 何地ニ於テモ肌膚ヲ露スヲ禁セリ、稍、上層社會ノモノ、外ハ大抵皆跣足ナルハ布哇地方ニ同シ  
 言語ハ當地地方ニ限レル土語ヲ用ヒ布哇ノ「カナカ」語ト相通セルモノ多ク亦以テ多ク同一系種ニ屬スルノ證據トスヘシ  
 家屋ハ白人來住以來土地ヲ其手ニ收メテ代リニ家屋ヲ造リ與ヘタル習慣ノ致ス所カ邊僻ニ至ル迄木造ノ歐洲風家屋ヲ構  
 ヘ大ニ整頓ノ外觀ヲ呈シ居ルハ稍、意想外トスル所ナリ其他尙ホ竹幹ヲ材トシテ造リタル居屋及椰子葉ヲ以テ屋壁ヲ葺  
 キ床ヲ設ケサル純粹ノ傳來的家屋ニ住セルモノ亦少カラス食物ハ歐洲風ニ浸化セラレ牛豚肉ヲ炙リ麵麩ヲ喫シ葡萄酒ヲ  
 飲ムモノ多キモ尙ホ麵麩ニ代フルニ「ブレット、フルウト」(天產果物ニシテ之ヲ炙レハ麵麩ニ宜且ツ之レカ代用ヲナス  
 ヘキ好滋養食料)ヲ以テ椰子汁ヲ啜リ椰子酒ヲ飲ミ蕉實「ポイ」(Poi 芋ノ一種)生魚等ニノミ寄食セルモノ亦少カラ  
 ス家屋ノ建築等ハ相當ノ技巧ヲ有シ、外國語モ亦稍、習得セルモノアレトモ手工等ニ至リテハ未タ創意慧巧ヲ見ス蓋シ  
 思想ノ最モ單調ナルモノ乎、外國人ト混住シテヨリ歳久シキカ爲ニ混婚頗ル行ハレ稍、土人ニ近キモノ、寧ロ白人ニ類  
 セルモノ又ハ幾ント分ツヘカラサルモノ向背相交ハルハ一奇トスヘシ、結婚ハ迭ヒニ許ス者相結約スルコトヲ得レトモ  
 最後ノ許斷ハ父母ニ俟タサルヘカラス葬祭ニハ奇俗アリ島ノ到ル所斷壁ニ沿フテ洞穴アリ屍體ヲ棺廓内ニ藏メ之ヲ蓋セ  
 ス其儘穴内ニ放置スルモノ多シト云フ頗ル迷信ニ富ミ且ツ古來墮胎、人犧ヲ魔神ニ捧ケ又ハ「サーカムシオン」等ノ蠻  
 風アリシモ今ハ其跡ヲ絶チ又絶タントスルモノ、如シ、男女間ノ風儀ハ季候ト情氣ト相俟チ頽敗ヲ免レサルモノ、如シ  
 士民概シテ安逸ニ耽リ毫モ向上發奮ノ氣無ク加之勞作シテ得ル所ノモノハ是ヲ俟タシテ之レヲ散シ通シテ貯蓄ノ觀念無  
 シ蓋シ天惠ノ豊果ハ累々梢頭ニ四時絶エス魚族亦多ク「ラクーン」内ノ靜波ニ鯨遊ス之ヲ獲ル眞ニ一舉手一投足ノ勞  
 ナリ彼等ハ斯ク少ク勞シテ得ル所ノモノ無盡藏ナリ飽テハ即チ眠ル、眠ルモ温風以テ衣ヲ求ムルヲ要セス何ヲ苦ンテカ

營々勞作センヤ彼等ハ斯クノ如クニシテ足ル事ヲ知ル即チ天安ンシ太古の生活ヲ樂シムモノナリ奇峭ナルモノ温藉ナ  
 ルモノ山嶺重疊飛瀑懸ル四周ニ奔注スル水頗ル清冽、蕉樹 (Puruma)「ク、イ」(Kukui)「プラン」(Burau)「ブルム」  
 (Puruma)等ノ熱帶植物ヲ叢生スル間ニ亭々タル椰子樹此地殊ニ鬱鬱月光ヲ撃チテ聳ヘ「ラグレン」内穩波聲ナク「キヤ  
 イ」(獨木舟)ニ棹シ魚ヲ漁ス——燎火明滅ス天地閑寂此間土人婦女群踏シテ相和スル蠻歌一緩一急椰子葉ヲ以テ張リタ  
 ル茅茨内ヨリ起ル如キハ人ヲシテ轉々仙寰ノ他ニアラサランヲ覺ヘシム而モ如上ノ習慣ハ永久繼續スヘキカ疑問ナリ

第六節 本邦人ノ氣受ケ

本邦人ハ前章記述シタル燐礦採掘勞働者カ「マカテア」島ニ渡航シタル外ニハ往年軍艦筑波カ一度「バビーツ」港ニ寄泊シ  
 タルト昨年我商船學校練習船ノ暫時碇泊シタル外ハ桑港方面ヨリ同地ニ渡航シタル本邦人二三カ諸種ノ勞働ニ從事シ今  
 マ其一人カ留存スル外ニハ多ク同地方ヲ訪ヒタルモノアルヲ聞カス然ルニ同地方ノ佛國官民ハ固ヨリ一般土民ノ本邦人  
 ニ對シ好感情ヲ表スルハ實ニ意料ノ外ニシテ「マカテア」島ノ如ク直接本邦人ト接觸スル地カ其地土人トノ折合ヒ極メテ  
 圓滿ナルノミナラス「タヒチ」島地方ニ於テモ本邦人ハ其衣服相貌ノ支那人ト相分ケ難キニ拘ラス容易ニ之ヲ識別シテ到  
 ル所一般ニ敬親ノ情ヲ表ス蓋シ豫テ本邦及本邦人ヲ歴史其他ニ依テ之ヲ學ヒタル印象ノ素地ニ加アルニ我勞働者ノ渡來  
 ニヨリ其特質ヲ聞知シ其感ヲ強ウシタルモノカ現ニ余カ旅行中到ル所「イオラナ」(Iorana)ノ聲ヲ以テ嬌容之ヲ迎フ「イ  
 オラナ」トハ「今日ハ」又ハ「能ク來給ヒシ」等ノ意味ヲ含蓄スル土語ナリ又タ土人酋長(土語タバノ Tabano)ノ家ニ一泊  
 シタルニ家族歡待ノ誠ヲ盡シ余ノ去ルニ蒞ミ金錢ヲ受クルヲ拒ミ始テ本邦官人ノ來投シタル紀念トシテ本邦製ノ物品ヲ  
 得ンコトヲ望ミシカ如キ以テ其一班ヲ推知スルニ足ラン

第七節 將來

「タヒチ」島カ未タ廣ク世ニ紹介セラレサルハ主トシテ多ク交通ノ衝ニ當ラサルニ依ル試ミニ地圖ヲ取りテ之レヲ見ヨ本  
 島ヲ經過スル航通線ハ濠洲ヨリ新西蘭「ウエリントン」港ヲ至リ同港及同地ノ北方「オークラランド」港ヨリ「クック」群島ノ

將來交通  
ノ要衝ト  
ナルヘシ

本邦人ノ  
氣受ケ極  
メテ良好

49-93

「ラントガ」ヲ經又ハ直接ニ「バビーツ」港ニ至リ斯クテ東北桑港及西北「フキジー」群島ヲ經テ布哇ヲ連絡スルニ過キス然ルニ近ク千九百十五年ニ開通セラルヘキ巴奈馬運河竣工ノ曉ハ南北米國諸港ヨリ運河ヲ通シテ東洋南洋諸島及濠洲トノ間ニ往航スル船舶ノ先ツ衝路ニ當ルハ此島ナルカ故ニ此安全ナル碇繫港ト良水トヲ利用シテ炭水ノ供給所トシテ其重キヲナスニ至ルヤ必セリ且ツ運河開通後ノ太平洋ニ於ケル列國ノ軍略的形情ノ變更モ亦本島ヲ疎外スル能ハサルニ至ルヘキカ過月獨逸カ本島ノ讓受ケヲ商量シタリトノ風聞アリシカ如キハ事實ノ如何ハ姑ク措キ多少本島將來ヲ輕視スヘカサルヲ語ルモノニアラスヤ則チ交通ノ便ハ産業ノ隆盛ヲ促シ隨テ現下南洋ノ一仙島ヲ以テ目セラレ多ク江湖ニ聞ヘサル本島モ將來世間ニ顧ミラル、ノ日來ルヘキヲ信スルナリ

終